

2017-2018 ガバナー月信

# GOVERNOR'S Monthly Letter

# Final



**ROTARY:  
MAKING A  
DIFFERENCE**

ロータリー：変化をもたらす

国際ロータリー第2510地区 2017-2018年度ガバナー 国立金助

〒060-0042 北海道札幌市中央区大通西11丁目4 大通藤井ビル7F TEL(011) 207-2510 FAX(011) 207-2512

E-mail: rid2510@nifty.com <http://rid2510.org>

2017-2018年度国際ロータリーのテーマ

# 「ロータリー：変化をもたらす」



## 国際ロータリー第2510地区 2017-2018年度地区目標

### 1. 世界ポリオデーの支援

あと少しで我々ロータリアンは「ポリオ撲滅達成」という歴史的瞬間に立ち会おうと  
しています。

### 2. 地区委員会と各クラブの連携強化

地区委員会には、クラブ支援をする大切な役割があります。  
地区への相談窓口「クラブ管理運営委員会」を設置。

### 3. 取り戻そう「ロータリーの心」

そして伝えよう「次世代を担う青少年へ」。

ロータリーの「人の役に立とう」と言うサービス精神は、112年経った今も健在です

## CONTENTS

●ガバナーメッセージ……………	1	●蘭越RC創立50周年式典報告……………	10
●2018年ロータリー国際大会 in トロント報告……………	2	●札幌モーニングRC 30周年を終えて……………	11
●第45回ローターアクト地区大会を終えて……………	3	●2017-18年度ガバナー補佐退任挨拶……………	12
●2017-18年度インターアクト年次大会報告……………	4	●2017-18年度地区委員長退任ご挨拶……………	16
●「財団学友会総会・財団奨学生壮行会・懇親会」を終えて……………	5	●新会員のご紹介／訃報……………	25
●RYLAセミナーを終えて……………	6	●米山記念奨学会寄付・ロータリー財団寄付……………	27
●RLI体験セミナー報告……………	7	●米山奨学生紹介……………	28
●現・新ガバナー補佐及び地区委員会委員長引継ぎ会議……………	8	●5月出席率・会員数……………	29
●第7グループIM報告……………	9	●6月出席率・会員数……………	30



## ガバナー年度に感謝

### R L I (ロータリー・リーダーシップ研究会) 次年度よりスタート

国際ロータリー第2510地区

2017-2018年度ガバナー **国立金助**

(函館RC)

2017-18年度はとても恵まれた年でありました。地区幹事団を初め、多くの人に支えて戴きました。特に12名のガバナー補佐・地区各委員長の素晴らしい指導力のお陰で、2017-18年度の地区数値目標・推進目標のほぼすべてをクリアする事が出来ました。すべてガバナー補佐・地区委員長のお陰と深く感謝申し上げます。

『地区委員会にはクラブを支援する大きな役割がある』

その地区の窓口として、一年限りのクラブ支援委員会を設置、委員会には迷わず渡邊葉子さんを指名しました(2年間地区米山記念奨学委員長としての後ろ姿を見て来ましたので、彼女なら出来ると確信致しました)。クラブ支援委員会は、クラブから地区への要望の窓口としての役割の他に、大役「RLI」を第2510地区で取り上げ、将来のロータリーのリーダー育成の1つのプログラムを作る宿題をお願いしました。「無から有を生み出す為」1年間に亘る委員内での激論・勉強会・他地区開催RLIセミナーへの参加(自己負担)等々、並々ならぬ努力・苦勞を間近で見ていたガバナーとしては、クラブ支援(委)委員の皆様へ心から敬意と感謝申し上げます。また、委員会開催では、小山ガバナー(当時エレクト)・福田ガバナーエレクト(当時ノミニ)・酒井PG・羽部PG・嵯峨PG・玉井職業奉仕基本理念委員長にも参加頂き、貴重なアドバイスを戴きながら、委員会の最終結論として、メンバーにRLIを知って戴く事が大切であるとの結論として、「RLI体験セミナー」を実施する事となりました。

『RLI part1 体験セミナー開催』

(RLIの研修の特色)RLI研修は、従来の講義を開くスタイルではなく、決められたテーマについて、みんなで意見を自由に出し合って討議する形式です。ディスカッション・リーダーは進行役で、質問を投げかけながら、各自の自発的な考え方や意見を引き出していきます。参加者は解答の結論を求めるのではなく、課題に対する参加者の発言から自分自身の解答や方向性を見出す研修方法となっています。

2018年6月9日(土)コンベンションセンター(札幌)にて9時~17時まで、「RLI part1 開催」参加定員35名のところ38名のロータリアンに参加頂きました。7、8名小グループでのディスカッションを50分間で5セッションを行いました。

セッションカリキュラム内容	セッションリーダー
A. リーダーシップの本質をつかむ	増田幸久クラブ支援委員(北斗)
B. 私のロータリー世界	平川香織クラブ支援委員(札幌千歳)
C. 倫理と職業奉仕	渡邊葉子クラブ支援委員長(札幌西北)
D. 会員を引き込む	福田武男ガバナーノミニ(千歳)
E. 強いクラブを作る	玉井清治職業奉仕理念委員長(函館亀田)

セクションリーダー5名の内、クラブ支援委員会より3名が出ました。この事から、いかに委員会の委員全員が努力したかがわかります。終了後、受講者の感想を聞かせて頂き、小山司ガバナー(当時エレクト)速決断すぐに、小山年度の諮問委員会にて、ご意見を聞いた上で、小山年度から始めたいとの強い意志の下、7月10日諮問委員会開催、PGのあたたかいご支援を頂き、小山年度(2018-19年)より第2510地区で実施する事となりました。将来のロータリーリーダーを育てる為のひとつのプログラムとして皆様のご参加を心より願っております。

また、舟本秀男様(札幌南RC)には、本年度もロータリーイメージ向上の為、「財界さっぽろ」にて毎月ロータリーの事業を無償で掲載して戴いております。これは舟本様のロータリーに対するご理解とロータリーに対する期待のもと、昨年・今年・次年度と3年に亘り第2510地区69クラブの事業等又地区各委員会事業等を載せて頂く事により、ロータリーがいかに素晴らしい奉仕事業をしているかをご紹介して頂いております。また1月、登別グランドホテルにて開催した「入会3年未満新会員セミナー」においては丸山淳士PGと共に舟本様にも講師をお引き受け頂き、若者にとって、とてもインパクトあるお話を聞かせて戴きました。そして、第4・5グループ合同IMでは、講師として素晴らしいお話を聞かせて戴き、その他にも、色々な所でご協力ご支援を戴きましたことを、地区ガバナーとして心よりお礼と感謝申し上げます。

最後に、ガバナーとして、沢山の素晴らしい体験の中より2つのことを紹介致します。

- ①公式クラブ訪問(函館圏除く)57クラブを家内と2人で車で11,000km走り、ホテルには53泊しました。各クラブには、あたたかい歓迎をして戴き、その後、地区大会(函館)にて再びお会いした時の感動は、私と家内にとって生涯の宝となりました。
- ②3年前デジグネットの時、初めて参加したのが長沼国際フェスティバルでした。そして、3年後、ガバナーの最後に再び長沼国際フェスティバルに参加出来た事は、私共にとって素晴らしい思い出となりました。これからも応援します!頑張ってください!

私にとって、ガバナー年度は、人に恵まれ、皆様のご協力・ご支援により、無事ガバナーとしての役割を終える事が出来ました。心よりご協力・ご支援戴いた方々に深く感謝すると共に、これからも、良き友としてお付き合い戴ける事を切にお願い申し上げます。また次年度小山司ガバナー年度にも、今以上のご支援をお願い申し上げます。素晴らしい体験の数々ありがとうございました!心より感謝!



# 『2018年ロータリー国際大会 in トロント報告』

国際ロータリー第2510地区

地区幹事 **久保俊幸**

(函館RC)

「親愛なるロータリアンのみなさん」

『トロントで開催される第109回ロータリー国際大会でみなさんをお迎えすることを楽しみにしています。きっと、様々なインスピレーションを得られることでしょう。大会は世界中のロータリアンと出会い、アイデアを交換し、学びあえる素晴らしい機会です。多くの奉仕が実施された1年を祝い、次年度へのエネルギーを充電しましょう』とイアン H. S. ライズリー R I 会長が参加を促した「カナダトロントの国際大会」に、国立ガバナーご夫妻をはじめとする第2510地区のメンバー51名の中の1人として6月22日より27日まで参加してまいりました。

私は、スケジュールの関係で、本部団と同行できませんでしたが、6月23日の夜にトロント入り、翌24日に本部団と合流し、メトロ・トロント・コンベンションセンター内で登録キットを受け取り“友愛の家”を見学しました。

昼食後、いよいよ国際大会開会式です。午前と午後の2回開催で、2510地区は15時30分からの午後の部です。会場のエア・カナダ・センター（ドーム会場）は、開始1時

間前にもかかわらず、既に5万人以上の世界中の会員でごった返し、何とか席を確保し開始を待ちました。

各国の国旗入場に始まり、歓迎の挨拶、パフォーマンス（イリュージョン・民族舞踊・etc.）、R I 会長と家族の紹介、そしてイアン H. S. ライズリー R I 会長より歓迎の辞など、楽しい時間でしたが、なによりもスケールが大きく、驚きの連続で素晴らしい式典でした。

夜は、北海道地区ナイトです。The Hot House Restaurantで嵯、地区 R I 国際大会推進委員長(P G)の開会挨拶、国立ガバナーの歓迎挨拶、小山ガバナーエレクトの祝杯によりスタートし、なごやかに、そして楽しい食事会でした。

谷口地区国際奉仕・V T T 委員長を始め、各委員の皆様には、準備や設営等で大変お世話になり感謝申し上げます。

翌日、本部団は、ナイアガラ・ラスベガスと観光し、無事に北海道へ帰国しました。

なお、来年はドイツハンブルグ、再来年はハワイ、明明後年は台北で開催予定です。世界中のロータリアンと交流できる機会を是非感じてください。





## 第45回ローターアクト地区大会を終えて

地区ローターアクト委員会

委員長 川下 和 光

(札幌南RC)

去る、6月30日札幌市にて開催されました第45回ローターアクト地区大会に、福田武男ガバナーノミニーをはじめ、地区役員や提唱ロータリークラブのロータリアンの皆様から多数のご登録ご臨席をたまり、誠に感謝申し上げます。そして当地区のアクト地区大会は毎年年度末に開催されることもあり、隣の2500地区や道外から有効地区のアクターが多数参加していただきました。これは、当地区のアクターが年間を通して道内外を精力的に活動した証でもあります。

さて、先ほども申しましたように、当地区アクトの地区大会は年度末に開催されますが、これはアクトの卒業式や年間表彰を行うためです。

年間表彰は、会員増強賞・ベスト企画賞・最優秀クラブ賞・MVA男性部門・女性部門・最優秀個人賞です。ベスト企画賞は赤平ローターアクトクラブが受賞致しました。会員増強賞と最優秀クラブ賞は千歳ローターアクトクラブが受賞致しました。

そして、MVA男性部門は千歳ローターアクトクラブの森 琢哉会員、MVA女性部門は札幌南ローターアクトクラブの深貝友香梨会員、最優秀個人賞は赤平ローターアクトクラブの山下彩夏会員が受賞致しました。それぞれのクラブが、そして会員それぞれが年間を通して精一杯アクト活動を頑張った結果であると思います。受賞したクラブ、受賞した会員は、次年度も受賞できるように頑張りたいと思いますし、受賞できなかったクラブ、受賞できなかった会員には次年度こそは受賞できるように本年度同様に次年度もアクト活動を頑張りたいと思います。私も当地区アクターが活動に専念できるよう

地区委員と連携協力し、サポートして参ります。

また、卒業式では、これまで当地区アクトの中心メンバーとして活動して頂きました山下彩夏地区代表をはじめ女性5名男性2名のメンバーが卒業を迎えました。当地区では、この5年間の長きに渡りアクターとして活動して頂いた方の卒業を毎年迎えている状況です。早急に会員増強とアクト年数の浅い会員の育成を急務としております。次年度はアクト年数の浅い会員のための勉強会やローターアクト学友会員との交流などで様々な経験を積んで頂きたいと考えております。少し話がそれてしまいましたが、山下代表をはじめ卒業生のみなさまご卒業おめでとうございます。当地区ローターアクトとして活動いただき、感謝申し上げますと同時に、今後はローターアクト学友として当地区アクトの発展のために共に活動して参りましょう。

最後に、当地区アクト地区大会は年度の総仕上げと次年度への襷を渡す意味合いも御座います。地区代表の引き継ぎ式や次年度地区役員紹介などを行い、次年度の地区代表が地区代表として、どのような年にしていくのか意気込みを発表します。そして新たな一年が始まります。

本年は私も地区委員長として一年目でした。国立ガバナーをはじめ多数のロータリアンのみなさまにサポートしていただき心より感謝申し上げます。次年度は、よりローターアクトのことを地区内ロータリアンの皆様全てに知っていただけるように全身全霊を注いで参りますので、今後ともローターアクトを宜しくお願い致します。





## 国際ロータリー第2510地区 2017-2018年度 インターアクト年次大会報告

地区インターアクト委員会

委員長 齋藤 貴之  
(札幌モーニングRC)

本年6月23日(土)・24日(日)にNTT北海道セミナーセンターにて、「幸せの種をまこう」をテーマにインターアクター82名参加のもと開催されました。

プログラムⅠは公益財団法人修養団SYDによる「幸せの種まきキャンペーン」の出前授業で、同団体が支援しているフィリピンのストリートチルドレンやスカベンジャー(ゴミ山のゴミ拾いで生計を立てている貧困層の子供達)、また助かる見込みの薄い病弱な子供や高齢者の「死を待つ人の家」といった社会的弱者の実情や支援の内容について講話を聞きました。衝撃的な写真や講話者の感情豊かな語り口で、インターアクターも、その悲惨さや反面自身の恵まれている状況に対し深い理解をしていたようです。

講話者への感謝の言葉を札幌第一高校の関さんからされる際、昨年の研修旅行で台湾に興味を持ち、今年一人で台湾高雄に行ったこと、その際に表面的な豊かさの裏側に、スラムなどの貧困があることを改めて知り、将来は貧困問題などを解決するNGOに入りたいと思っていると聞き、インターアクト活動の重要性を改めて感じました。

プログラムⅡはスポーツ弱者をなくそうということで、「ゆるスポーツ」を行いました。簡単なレクリエーションですが、今一番体力も元気もある高校生ですので、全力で取り組み、全く「ゆるスポーツ」ではなかったようです。翌日の感想でも、本当のスポーツ弱者が昨日のメニューを行うことを思い出して、前日からの筋肉痛と共に思った通りに体が動かない自分をイメージしてくれたと思います。また、このレクリエーションを通じて、学校の垣根を越えて交流を図ることが可能となり、インターアクターの横の繋がりもできます。

プログラムⅢではオリジナル缶バッジを作成しました。缶バッジは海外の子供達に景品として配布するために作成し、団体に送付するという寄付活動の一環として行われ、合わせてインターアクター用のバッジも作り、結束力を高めることを目的としています。

年次大会は一年に一度、地区内のインターアクターが集結するという点で重要であるのは勿論ですが、ロータリアンと同様に相互の懇親を深め、友情の輪を広げて、さらに地区委員長として目標にしている「学び・体験・

交流」ができる素晴らしいプログラムであると感じます。全てのプログラムを通じてロータリアンのボランティアシップを伝え、未来のロータリアンとなることを祈念しております。

末尾ではございますが、当番校である札幌第一高校の提唱クラブである札幌ロータリークラブの皆様をはじめ、第2510地区のロータリアンの皆様、ご支援に対し心より御礼申し上げます。



プログラムⅠ



プログラムⅡ



プログラムⅢ



## 「財団学友会総会・財団奨学生壮行会・懇親会」を終えて

地区学友委員会

委員長 菅原 秀二

(札幌大通公園RC)

2018年6月9日の土曜日に、ロイトン札幌を会場として「財団学友会総会・財団奨学生壮行会・懇親会」が開催されました。この会は、新年度から、従来は奨学生が帰国してから財団学友となっていたのを、出発時から学友と位置付けるという定義の変更に伴って、地区の学友委員会と財団奨学金委員会の共催で開催されました。ここから、通常は帰国報告会と同時に開催していました財団学友会総会を財団奨学生の壮行会と一緒に開催するに至ったわけで、第2510地区では、初めての試みとなりました。

新しい試みでしたので、どのくらいの方が集まってくださるのか不安な面もありましたが、学友会関係者とロータリアンがほぼ同数で、総勢50名ほどの方に集まっていただき、盛会となりました。特に、「第2回学友体験・帰国報告会」と同様にご出席をいただいた米山学友会や地区ロータクトの皆さんには、この場をお借りして特段の感謝を申し上げます。いろいろな学友間の交流が深まっていくことは、当地区の新世代関係事業の発展にとって、重要だと考えているからです。

第1部は財団学友会総会で、決算や活動報告、予算や活動計画、新役員の紹介などが議事となりました。その中でも、財団学友会創立10周年記念事業であったThe Golden

Wheel」の翻訳が完成し、製本に出されて、6月中にお目にかけることができると言うことが発表され、大いに盛り上がりました。各クラブの皆様にもお目にかける機会があると思いますので、楽しみにしてください。

また、第2部では財団奨学生壮行会として、これからフランスへ出発予定の石井貴大さんとドイツに出発する覚知頌春さんからの抱負表明の他、スポンサークラブや財団学友会・米山学友会・ロータクトの皆さんからの激励の言葉をいただき、未来へ夢を馳せることとなりました。さらに、特別プログラムとして、ドイツ人より音楽を勉強されて帰国したばかりの久保田恵理さんのミニ・コンサートも開催されました。ちなみに、久保田さんは財団学友会の新幹事として、財団学友会の役員に加わっていただくことが第1部の総会で承認されたところでした。

こうして、あっという間にプログラムが終了しましたが、財団学友やロータリアンの20名ほどのメンバーが地下の「ダイナスティ」での2次会に出席し、旧交を暖め、交流を深めることとなりました。さらに、その後も、場所をススキノに移して、夜更けまで懇談は続きました。来年もまた、皆さんが集まれるように、この会を継続してたいきたいと考えております。





## RYLA(青少年指導者養成プログラム)セミナーを終えて

地区RYLA委員会

委員長 **長 田 正 文**

(岩見沢東RC)

5月26日・27日、グリーンピア大沼において、国立ガバナー、小山ガバナーエレクト、羽部パストガバナーのご出席の下、第2510地区のRYLAセミナーが開催されました。

両日とも天候に恵まれ、これなら外でのプログラムを取り入れてもよかったと思うほどでした。参加者はセミナー受講者32名、ロータリアン29名の総勢61名で、13時30分、国立ガバナーの点鐘で始まりました。今回のセミナーは、当委員会のメンバーにセミナー未経験者が多かったため、プログラムの内容は、一般社団法人はこだて地方創生研究会の皆様のご協力を得まして作成しました。

最初に北海道命名150年として北海道の歴史をパワーポイントで学び、その後、ワールドカフェでは、「北海道150年！北海道未来を創るのは君だ！」という難しいテーマでしたが、感想文を読みますと最初は緊張していたようですが、4人で話をしている内、真剣に北海道の未来に関心を持ち、様々な意見を出している姿勢が見られました。

そのグループにロータリアンが1名カウンセラーとして参加しており、国立ガバナー、小山ガバナーエレクト、羽部パストガバナーも参加され、若者たちの意見に耳を傾かせておられました。夕食会では青少年交換留学生

として参加したEthan Van Vo“君の誕生祝”で大変盛り上がりました。その後、部屋では深夜2時頃までお互いの仕事の事、私生活の話等で友情を深めたようです。

2日目は7時からラジオ体操をし、9時から前日を振り返り、その後、寺井慎一郎氏による講話、「これからのリーダーに求められるもの～リーダーシップとは」の演題でしたが、ロータリーのリーダーシップの意味、捉え方を改めて感じとることが出来、絶対的なリーダーではなく、自分にもリーダーシップが必要な事、自分でも身に着けることが出来る等を感じてもらえました。その後、終了証書授与、ガバナー講評をいただき、ガバナーの点鐘で終了いたしました。

このセミナーを通して、改めて、ロータリーが人を育て、人の心を育てる必要性、特に青少年の心を育てることの大切さを感じることが出来ました。そして、それが次の世代に美しき土壌を残すために大切なことで、リーダーたる者が心得ていかなければならないことと改めて感じました。最後に、第10・11グループのガバナー補佐、会長、幹事、そして各クラブの皆様のご協力に感謝を申し上げ、私の報告といたします。







## RLI (ロータリー・リーダーシップ・研究会) 体験セミナー報告

地区クラブ支援委員会

委員長 **渡 邊 葉 子**

(札幌西北RC)

6月9日(土)札幌コンベンションセンターにおいて、RLI(ロータリー・リーダーシップ研究会)体験セミナーが開催されました。RLIカリキュラムは、パートI・パートII・パートIIIの3部門で構成されております。今回は、体験セミナーということで、パートI・パートIIの中から5セッションを選びました。

当日に先立ち、それぞれのセッションリーダーは他地区においてセミナーを受講、4月30日には酒井正人パストガバナーを講師に研修を受け受けました。1名30分ずつで実践してみました。ファシリテーターの経験も殆どなく、不安でしたが、各自担当セッションを学び当日を迎えました。

午前9時開始、50分ずつ5セッションを参加者の皆様に体験していただきました。午後3時30分終了後、参加者の皆様から感想を頂戴いただきましたが大変好評でした。

参加者の方々のお声をご紹介させていただきます。

- ・1つのテーマについて、他クラブの方の率直な意見を聞く事が出来た。
- ・ロータリーの知識が増え、楽しさを感じた。是非続けてほしい。
- ・経験に基づいた話は、為になった。
- ・意見を発表するので、自分の考えが固まる。他者の意見で、これまでとは違う視

点での見方が出来る。

- ・ロータリーを深く考えてこなかったことに気が付いた。
- ・是非続けてほしい。今回体験ではなく、第1回として欲しかった。
- ・勉強になったものをクラブへ持ち帰ることが出来る。今後、地区では、このような活動を行ってほしい。
- ・小グループなので、本音で語れる。
- ・ファイヤーサイドミーティングのような感じがした。クラブにおいても、この手法が行えると感じた。
- ・いつ当てられるか分からないので、眠くならない研修は久しぶりでした。
- ・長時間なのでハードと思っていたが、少人数のディスカッションは楽しく、時間の経過が早かった。
- ・本音で語り合う中から相手を理解することが出来、親しみを感じた。

他にも多くのご意見を頂戴いたしました。

最後に小山司ガバナーエレクトからのご挨拶で、「一人一人の体験に根差した発言に、今迄気づけなかった事に気づき 次年度のRIテーマである【BE THE INSPIRATIN】に繋がるアイデアが出てくると感じました。ロータリーを好きになる、ロータリーを知る研修を大切にしたい」と言って頂きました。

セッション番号	セッションカリキュラムの内容	セッションリーダー
A	リーダーシップの本質をつかむ	増田幸久クラブ支援委員会委員(北斗)
B	私のロータリー世界	平川香織クラブ支援委員会委員(札幌手稲)
C	倫理と職業奉仕	渡邊葉子クラブ支援委員会委員長(札幌西北)
D	会員を引き込む	福田武男ガバナーノミニー(千歳)
E	強いクラブを作る	玉井清治職業奉仕・基本理念委員会委員長(函館亀田)





## 国際ロータリー第2510地区 2017-2018年度 現・新ガバナー補佐引継ぎ会議 現・新地区委員会委員長引継ぎ会議報告

国際ロータリー第2510地区

地区代表幹事 **森川 順治**

(函館RC)

6月上旬の季節外れの温かさが一変、リラ冷えとなった17日(日)、札幌パークホテルを会場に現新ガバナー補佐引継ぎ会議、並びに現新地区委員長引継ぎ会議が行われました。

開会挨拶として、国立ガバナーが、地区目標に掲げた地区委員会と地区の連携やガバナー補佐へお願いした事柄について話されました。年度開始前に担当するグループの各クラブ会員へのイメージポスターの配布、担当する各クラブ4回の訪問を呼びかけが実施されたことに対する感謝、公式訪問前に担当するクラブ訪問をしていただいたお陰で、スムーズな訪問ができた事に対し御礼を述べられました。

またRI会長が呼びかけた120万本の植樹事業では、当地区で当別道民の森への植樹に積極的に協力いただき達成することが出来た事、地区新入会員セミナー、RYLAセミナー、RLI体験セミナー等目標とした事業をすべて達成できたことに対し感謝の意を述べられ、また次期ガバナー補佐にエールを送られました。

続いて、現ガバナー補佐より活動報告の発表があり、担当するクラブ訪問に関しては、概ね4回の訪問をクリアされ、道民の森植樹ではバスをチャーターして参加、ガバナー補佐輪番制が厳しくなっている、担当するクラブ会員が亡くなった時、地区より哀悼の電報を出す規定が必要では等の意見が出されまし

た。ガバナーをサポートする立場を十分に理解し、細やかな対応をしていることに対し感謝致します。

次期各ガバナー補佐より活動計画書の報告があり、引継ぎ事項・質問等では、「RLI」ロータリーリーダーシップ研究会体験セミナーに参加した次年度ガバナー補佐より、とても勉強になったので、次年度も継続してほしい旨の要望がありました。

小山ガバナーエレクトより国立ガバナーへの労い、次年度に望む所信とガバナー補佐に担当するクラブへの指導の呼び掛けがありました。

昼食後、地区委員長引継ぎ会議での国立ガバナー挨拶では、地区はクラブの為、地区委員会もクラブ支援の為にあるとの認識で地区運営をしてきましたが、小山、福田、福井ガバナー年度で長期的な地区運営とガバナー、ガバナー補佐、各クラブへの情報の伝達ルート確立の情報共有を呼びかけました。

小山ガバナーエレクトの挨拶に続き、現各委員長からの活動報告、次年度各委員長より活動計画報告が行われ、ガバナー事務所・ガバナーエレクト事務所よりお知らせと報告の後、福田ガバナーノミニの閉会挨拶で終了となりました。

会議後の現新役員合同懇親会では、互いに一年を振り返り、携わった事業の労苦を語り合いながら楽しい時間を共有できました。



## 国際ロータリー第2510地区第7グループ IM 報告

2017-2018 年度 IM テーマ

## 『いつまでも健やかなロータリアンで』

第7グループ ガバナー補佐 福田 武男 (千歳RC)

2018年6月2日(土)、千歳RCと由仁RCの共催により、千歳ANAクラウンプラザホテルに於いて、山口幸太郎千歳市長をご来賓にお招きし、第7グループ6クラブの全員199名と米山奨学生2名、合わせて201名の登録、120名の参加によりIMが盛大に開催されました。

最近、若くして亡くなる会員、或いは病の床に伏せる会員がしばしば見受けられますが、このことを国立ガバナーがたいへん憂慮され、ロータリアンが健康でなければ奉仕活動もできない、IMを通して会員や地域の方々に、「健康に留意するよう警鐘を鳴らして欲しい」ということで、『いつまでも健やかなロータリアンで』というIMテーマで開催させて頂きました。講師には札幌北ロータリークラブの小林博パストガバナーをお招きし、『人間はいつまでがんと闘い続けるのか』という演題で基調講演を頂きました。91歳とは思えぬ穏やかですが、力強い小林先生の人柄が滲み出てくるようなお話に、出席して下さった多

くの市民も大いに感動したものと思います。

また、IMに先立ち、午前には、千歳市のシャムロックCCで「第7グループIM親睦ゴルフコンペ」が6クラブ50名の参加で盛大に開催され、千歳クラブの佐藤秀雄パストガバナーが7番ホールでホールインワン、また34-39のグロス73でベスグロ優勝、もちろんエイジシュート……我々は、ただ偉大なパストガバナーに啞然とするばかりでありました。3番のショートホールでは、「ポリオ寄付」も募り、117,000円もの寄付をいただくことができました。佐藤PGには、財布を文字通り叩いて多額の寄付を頂いたことは申すまでもありません。

記念講演の後は恒例の「親睦会」ですが、ゴスペル歌手のK i K iさんの素晴らしい歌声を聴きながらの和やかな中で、盛大にゴルフの表彰式も行われ、最後に「手に手つないで」を唱和し、千歳クラブの今野良紀会長エレクトの力強い一本締めで閉会となりました。



## 蘭越ロータリークラブ

## 創立50周年式典報告

私たち蘭越RCは、本年、創立50周年を迎えました。去る6月2日(土)に蘭越町長金秀行様、国立金助ガバナー、熊澤隆樹パストガバナー、泉侑第6グループガバナー補佐を始めとする御来賓の皆様にご臨席を賜り、更には第6グループの多数のロータリアンを迎え、総勢70名余りで記念式典並びに祝賀会を盛大かつ和やかに開催することが出来ました。

記念式典では、小澤会長が式辞で、「当クラブは、10名の少人数クラブですが、会員個々が最大限の力を出し、一致協力し活動する姿勢・連帯感は、蘭越ロータリークラブが誇れるものです。この伝統を次世代に引き継ぐため、会員増強に邁進していきます」との決意を述べられました。

国立ガバナーからは、「ガバナー公式訪問で、会員数は少ないが、自信に溢れ、心豊かで友情に溢れ和気あいあいの姿を見せて頂き、これからの活躍を期待できると確信している」と激励の祝辞を賜りました。

その後、当クラブのスポンサークラブであった俱知安ロータリークラブのご指導に感謝状を贈呈させて頂きました。

50周年記念事業報告では、昨年8月5日に蘭越町と協賛して開催した「蘭

越町少年サッカー大会」に優勝カップを贈呈し、青少年奉仕として継続事業として取り組むこと、町民の健康増進を願い、蘭越町に「自動血圧計」を式典当日に蘭越町金町長に贈呈し、金町長より、「贈呈に感謝します。大切に使用させて頂く」との感謝の意が示されました。

式典終了後、祝賀会に入り、蘭越商店街の「わが店の一品料理」を持ち寄った地元料理が各テーブルに出されると、その一品一品が美味しいとお褒めの言葉を頂きました。また、6月1日から出荷された地元の白ワインが大好評で、各テーブルの友情の輪が更に深められ、賑やかな祝賀会ムードとなったところです。その姿を当クラブの会員10名並びにご婦人の方々が見たときに、先輩の方々から引き継いだ50年の歴史と伝統があって、このように多くのご来賓並びにロータリアンに来て頂き、激励の言葉を頂けたと改めて実感し、式典を開催した充実感を味わうことが出来ました。その多くのエールに蘭越ロータリークラブが応えていくため、今まで以上に奉仕活動を積極的に展開し、地域と国際社会に貢献できるよう活動していくことを会員総意で決意したことを申し上げ、50周年の報告とさせて頂きます。



## 札幌モーニングロータリークラブ

## 30周年を終えて

幹事 佐藤 元治

札幌モーニングRCは今年度で30周年を迎えることが出来ました。

1987～1988年度(昭和62～63)第2510地区坂本 忠ガバナー(坂本勝彦会員の父)は、国際協議会の席上、早朝例会クラブの設立を強く要請されたことが引き金になり、札幌市内に早朝クラブを是非創設したい思いを持っておりました。当時、世界には早朝クラブは1,200クラブ位ありましたが、日本には川口モーニングRC、東京城南RCのたった2クラブだけで、歴史の浅いものだったようです。

そこで、坂本ガバナーは会員増強、クラブ拡大、そして若い働き盛りの企業人が出席しやすいような早朝例会クラブの必要性を訴えました。その夢は直前ガバナーで札幌北RCの三浦祐晶パストガバナーに託されました。三浦祐晶パストガバナーは坂本ガバナーの熱意に心を動かされ、自ら特別代表を引き受け、ガバナー時代の副幹事の札幌北RCの近藤良一氏、堀居信次氏にキーマンをお願いし、設立に向けて動き始めました。準備期間、僅か3ヶ月で1988年(昭和63年)6月9日、設立準備仮総会が開かれ、6月23日午後6時より、札幌センチュリーロイヤルホテルに於いて札幌モーニングRC設立総会が行われました。札幌北RCを親クラブとして、移籍した5名に加え26名、合計31名でのスタートでした。

以来、チャーターメンバーの努力により、色々と変化を遂げながら成長して参りました。

社会奉仕活動は、「生活何でも相談」や「献血」「青少年交換事業」「米山記念奨学事業」を実施、さらに「カミネッコン植樹事業」へと変わってまいりました。カミネッコン植樹は北海道大学東三郎教授が提唱する植樹方で、幌南小学校の子供たちとの藻岩山幌南の森、富丘小学校の皆さんとの富丘の森と広がりを見せ、山の生態系を守る一翼を担っていると思っています。

結果、札幌市植樹祭の場で功績を認めて頂き、感謝状を頂く榮譽に浴することも出来ました。また、今期からは植育樹を考えていきたいと、森づくりサークルと協力して、ロータリー地域共同体を立ち上げて活動を開始しています。

当クラブの会場は、札幌駅の隣にあるセンチュリーロイヤルホテル20階を使用しており、クラブ内では朝のラジオ体操、四つのテストの唱和と握手を行い、親睦を深めています。その他に、アウトドア同好会による近隣の山の登山をはじめ、そば打ち会、クラブ対抗ゴルフ会参加など、各個人に合った活動を楽しんでおります。

札幌モーニングRCは、川口モーニングRC、青森モーニングRC、旭川モーニングRC、京都モーニングRCと姉妹クラブとして活動し、お互いの周年行事への参加のほか、会報誌の交換など交流を深めて参りました。次年度には神戸モーニングRCとの姉妹協定を計画するなど交流の輪を広げたいと思っています。



## 2017-18 年度ガバナー補佐退任挨拶



第1グループガバナー補佐

**齋田 光章**  
(深川RC)

2017-2018年度の第2510地区第1グループガバナー補佐の退任にあたり、所属クラブのメンバーは勿論、グループ内皆様のご支援をいただき、1年を終了できましたことに心から感謝申し上げます。

各クラブの会長・幹事の皆様にも絶大なご協力をいただき、地区の行事への参加など、ご配慮いただきましたこと重ねて御礼申し上げます。十分なガバナー補佐としての役目を果たせなかったかと反省していますが、ロータリーの友情に免じてお許し頂ければと思います。グループ内各クラブの益々のご活躍を願い、退任のご挨拶とさせていただきます。



第2グループガバナー補佐

**佐藤 正一郎**  
(砂川RC)

「光陰矢の如し」、あっという間の一年でした。

一昨年10月、ガバナー補佐の指名をいただき、不安でいっぱいを受諾がありました。自分の所属するクラブならばいざ知らず、第2グループの他のクラブの実態も分からず、まさに暗中模索の出発でありました。しかし、今、この時を迎え振り返ってみますと、各クラブの会長・幹事諸兄の友情で、大過なく過ごせたのではないかと自負いたしております。加えて国立ガバナーという懐の深いガバナーと共に一年間活動出来た事も、私に取りましては大変ラッキーでありました。

又、11名のガバナー補佐とは、肝胆相照らす仲となる事が出来ました。ガバナー補佐としての一年は正に「出会いの喜び」の一年でありました。生涯の友人を得た思いであります。

振り返ってみますと、ロータリークラブに入会させていただき26年が経ちました。クラブでは会長・幹事等を努めさせて頂き、正に全てをやり終えたという誤った思惑で、怖いもの知らずの「井の中の蛙 大海を知らず」の状態でありました。ガバナー補佐として地区に出向させて頂き、自分の不十分さ、未熟さに気がつき、種々な方々から影響を受け、そして感銘し、ロータリアンとして若干の成長が出来たのではないかと感じております。「井の中の蛙 大海を知らず。されど頭上の空の青さ」に気づかされた一年でありました。一年間ありがとうございました。



第3グループガバナー補佐

**山本 公彦**  
(岩見沢RC)

国立ガバナーとは、嗟峨ガバナー年度のガバナー幹事団の一人として、また地区幹事として、とりわけ早くからご厚誼を頂いておりました。

2017-18年度に第3グループガバナー補佐を拝命し運命を感じました。

国立ガバナーの推進目標である世界ポリオデーの支援、地区委員会と各クラブの連携強化、取り戻そう「ロータリーの心」の3点をサポートしようと、3名の補佐幹事と共に微力ながら邁進しました。

ポリオデーやIM開催では各クラブの理解協力を得ることが出来ました。クラブ訪問時は、折に触れ、情報と人の交流が盛んになる地区の委員会に所属する事をお勧めいたしました。

また、ガバナー公式訪問時の対応についても、お迎えするクラブとしての矜持を示して頂く心配りなど、言いづらい助言も述べたりしてまいりました。補佐職としてではなく、新会員合宿セミナーの開催にあたり、裏方としてお手伝い出来た事も思い出深いものとなっております。

国立ガバナーと第3グループのパイプ役として、どの程度お役に立つことが出来たか疑問ですが、関係各位のご支援により任期を終えることが出来ました事を紙面をお借りし、改めまして感謝とお礼を申し上げます。

最後になりますが、国立ガバナーの益々のご健勝と第2510地区全会員のご健勝とご活躍をお祈りしてご挨拶といたします。



第4グループガバナー補佐

**石丸 修太郎**

(札幌西RC)

国立金助ガバナーの下、1年間、第4グループのガバナー補佐としてお務めさせて頂きました。ガバナー補佐の依頼があったのが2016年9月で、12月には直ぐにガバナー補佐会議があり、その後、PETSや地区研修・協議会、そして7月に入るとガバナーの公式訪問が始まり、地区大会まで、あっという間に時間が過ぎました。その間、各クラブへの訪問を行いながら、グループ内の情報共有の有用性も感じる事ができました。

IMは第5グループと共同開催しており、この年度は第5グループが主として動いていただいた為、私の方での仕事はほとんど無く、楽をさせて頂きました。3月17日に開催したIMには、多くの会員が登録、そして出席を賜り心より御礼申し上げます。

次年度のガバナー補佐を札幌手稲RCの中村先生に御引き受け頂き、引き継ぎ会も無事終了し、最後のお仕事が国立ガバナーの代理で札幌モーニングRCの創立30周年の祝賀会への出席ということで、私のガバナー補佐の御仕事を終えることが出来ました。

7つのクラブの皆様へ感謝を申し上げ、かつ国立ガバナーの御優しい心配りに御礼を申し上げ、退任の挨拶とさせていただきます。



第5グループガバナー補佐

**徳中 征之**

(札幌南RC)

ガバナー補佐就任前の2016年12月3日の会議を始めとして、各種会議を通じて国立ガバナーのロータリーへの思いを学ぶことができました。第5グループ7クラブにはガバナーのお考えを共感してもらい、おかげさまでイメージポスターの配布や120万本の植樹は、各クラブから暖かい協力をいただきました。

クラブ訪問を通じて、各クラブが地域に根差したロータリー活動を続けていることに敬服するとともに、各クラブの皆様と友情を深めることができました。

第4・第5グループ合同IMは、窪田北海道副知事をお招きして「北海道命名150年を迎えて」をテーマに開催し、舟本秀男氏が「武二郎が夢見た北海道の未来」と題する感銘深い基調講演をされ、さらに北海道150年事業室に対し、貴重な登録料の中から、舟本氏の著作および寄付金をお渡しすることができました。総登録数587という会員皆様の絶大な好意と友情に

感謝申し上げます。

おかげさまで地区と各クラブとの「かけ橋」としての職責を果たせたと思います。大変充実した楽しいロータリー生活でした。

国立ガバナー、森川地区代表幹事をはじめ地区役員の皆様、またグループ7クラブの会長、幹事、会員皆様へ感謝申し上げます。



第6グループガバナー補佐

**泉 侑**

(小樽RC)

第6グループガバナー補佐を一年間を務めさせて頂き、国立ガバナー、森川地区代表・幹事をはじめとするガバナー事務局の皆様、そして第6グループ各RCの会長幹事をはじめ会員の皆様には、心より感謝申し上げます。

私にとって、この一年は、出会いとふれあいの連続であり、ロータリアンの友情の輪を強く感じる充実した年でありました。各種セミナーでロータリーの何たるかをあらためて学ばさせて頂き、ガバナー公式訪問随行では、国立ガバナーの飾らない人柄とロータリー愛に強く感銘を受けました。よき指導者の下で補佐してもらい、幸せだったと思います。

第6グループ各RCの皆様には、公式訪問を温かく迎えていただき、また夜間例会にまで参加させて頂き、楽しい一年となりました。パークゴルフ参加や英語接客コンテストの参観も良い思い出です。

次期とその次のガバナー補佐がすっきり決まったことにも、感謝、感謝です。



第7グループガバナー補佐

## 福田 武男

(千歳RC)

一年間、国立ガバナーをはじめ、地区幹事、第7グループ会長・幹事、そして会員のみなさまの温かいご支援とご協力を頂きながら、2017-18年度のガバナー補佐を何とか無事勤め終えることができました。すべての関係者の皆様方に心から感謝申し上げます。思い返して見ますと、2016年の春には既に2017-18年度国立金助ガバナー年度のガバナー補佐を務めることになっておりましたが、12月の中頃にガバナーノミニ・デグジネートへのご推薦があり、国立ガバナーエレクトから兼任の了解を得て急遽ご指名を受けることになりました。2年後を視野に入れながらも、ガバナー補佐としてガバナーを支援してきたつもりではありますが、会長・幹事会が6回、各クラブ訪問が4~6回というのはなかなか大変なことでした。6月のIMでは、会員の健康問題に思いを馳せるガバナーの意を汲み、小林博PGに『人間はいつまでがんと戦い続けるのか』というテーマでご講演を頂き、無事終了することができました。最後に改めまして国立ガバナーをはじめ、すべての皆さま方に心から感謝を申し上げますと共に、来るべき小山年度が更に躍進されますことを祈念致しまして退任のご挨拶とさせていただきます。



第8グループガバナー補佐

## 小林 栄一

(様似RC)

「ロータリーは一本の木に例えられる。木の根にあたるのは親睦であり、人との交流だ。幹にあたるのは職業奉仕・・・云々」という私なりの理念のもと、ガバナー補佐の役職について一年、研修期間も入れると一年半の長丁場となった。

ガバナー補佐の第一の役割は、ガバナーと担当地区の橋渡し役だ。しかしそれだけではないと思う。おかしい事は、おかしいと言う事も必要だ。それぞれの地区には、それぞれの地区の抱えている事情も悩みもある。ガバナーの言う事、目指している事が全て正しいとは限らない。ガバナー補佐の重要なもう一つの役割は「チェック機能」を持つという事だ。

米山奨学金、ロータリー財団への寄付「ゼロ」を無くしたい。という思いは分かるが、大学の存在しない地区で、米山の重要性を説かれても今一つ浸透しないし、ましてや「資金運用」失敗の尻拭いをさせられるのも、大いにおかしいと思う。奉仕はお金でするものではない。お金が無ければ無いように奉仕活動を考えれば済む事ではないか。寄付行為はすべからず自由意思でなされるのが基本であり、「お願い」というオブラートに包まれた半強制であってはならない。第8グループの各クラブの温かい心によって、この地区の「ゼロ」も解消されたのだが、お願いしてまわった私の心は、いまだに釈然としない。再考を願いたいものだ。

この一年ガバナー補佐をやって良かったことがある。それは「人との交流」だ。色々な方々と知り合いになれる・・・それこそガバナー補佐の特権だ。第8グループのロータリアンの皆様のおかげで、この特権を堪能できたことを感謝したい。歌の一節にあるように、これからも、「どこであっても、やあ」と言っていたきたいものだ。感謝、感謝、感謝。



第9グループガバナー補佐

## 松岡 健一

(室蘭RC)

2016年12月の次期ガバナー補佐会議から始まったガバナー補佐の任務を、先月6月17日の現新ガバナー補佐引継ぎ会議をもって全て終了させていただきました。何の準備もなく補佐に任命され、十分な役割を果たせなかったことを反省しておりますが、温和な国立ガバナー、親切な森川地区代表幹事をはじめ、地区幹事の皆様のご指導の下、また当グループの中田ガバナー補佐幹事や各クラブ会長・幹事の皆様のご支援、ご協力をいただき、何とか無事に務めさせていただきましたことに感謝を申し上げます。

ガバナー補佐の役割は、ガバナーを補佐し、グループ内の各クラブの活動の活性化を支援することであつたと思っておりますが、グループ内の各クラブは独自の方針のもと精力的に活発な活動を進めておりますので、補佐の支援を必要とすることは少なかったように思います。

一年を振り返りますと、当初、ガバナーから依頼された補佐としてのクラブ訪問や会長・幹事会の回数など十分でなかったかと思っておりますが、ガバナー公式クラブ訪問の先導やIMの開催など、ある程度の役割は果たせたかとも思っております。

個人的には、国立ガバナーのもと、地区幹事の皆様と共に、地区ロータリークラブの活動に参加させていただき、大きな体験になりましたが、だからこそ、もっと若い会員にお願すべきであつたと反省しながら、退任のご挨拶とさせていただきます。





第10グループガバナー補佐

**石川 強**  
(七飯RC)

一昨年12月から研修がはじまり、最初はとても不安で、何も解らないまま、国立ガバナー年度がはじまり、最初のクラブ訪問では、緊張の中、稲葉前ガバナー補佐に同行して頂きました。

ガバナー公式訪問の前に、担当クラブを数回訪問することが出来、会長・幹事会も2回あり会長、幹事の皆さんと懇親を深め、公式訪問の時には気軽に挨拶させて頂き、無事6クラブの訪問を終えることが出来ました。

IMでは、「今こそ、カラダ考える」をテーマで、自分の健康について見つめなおす機会にして頂きたいとの思いで開催しました。実行委員の皆さんの素晴らしい段取りにはとても感謝しております。

最初から最後まで緊張の連続でしたが、国立ガバナー、地区幹事、各ガバナー補佐、第10・11グループの皆さん、そして七飯RCの仲間の支えがあり、その任務を終えることが出来ました。

貴重で楽しい経験をさせて頂きまして、大変ありがとうございます。



第11グループガバナー補佐

**黒島 一生**  
(函館東RC)

第11グループガバナー補佐は、5ロータリークラブが管轄です。普段、メーカーアップなどで顔を出していない郊外クラブにも訪問することができました。クラブ訪問は、会員との親睦を深める最高の場所で、ガバナーの地区目標や環境保護の取組について少しでも伝える手段として有効に感じました。

公式訪問の際、ガバナーに送迎でご連絡しましたが、市内クラブはもとより郊外クラブも全て自身が運転して向かわれたことに驚きとガバナー補佐への負担を掛けないとの想いが感じられました。

また、七飯ロータリークラブと函館東ロータリークラブで共催したIMで担当の私が、インフルエンザA型に感染して全てを第10グループ石川ガバナー補佐と函館東ロータリークラブIM実行委員長並びに実行幹事に大変お世話になりました。この紙面をお借りしてお礼申し上げます。

最後になりますが、国際ロータリー第2510地区国立ガバナーを側面からバックアップできたらの思いで1年間務めさせていただきました。いろいろな経験と出会いが私をひと回り大きくして下さいました。第11グループ内の会長・幹事並びに会員の皆様に一年間大変お世話になりありがとうございました。



第12グループガバナー補佐

**佐藤 正**  
(苫小牧東RC)

この一年を振り返り国立金助ガバナー、森川順治地区代表幹事、地区幹事のすべての関係各位にお世話に成り、ガバナー補佐の任務を終了させていただきました。

私は第12グループ担当ガバナー補佐でしたが、各クラブともに会長・幹事会を始め、併せて4クラブ20回のクラブ協議会、訪問、懇親会を楽しく過ごさせていただきました。第12グループ各クラブに感謝申し上げます。特に、この地区初めての試みでもあります昨年9月9日の当別町道民の森での植樹に大型バスを貸し切り、白老をスタートに会員家族47名で参加して、晴天のもとで御弁当を食してから植樹。白老から道民の森までの遠い道のりでしたのでバスの中で盛り上がり、各クラブの交流・親睦会が有り楽しく植樹が来ました。各クラブの御協力に感謝致します。

私自身、この地区の役員として初めてで国立金助ガバナーの地区・数値目標・推進目標を各クラブに依頼しました。達成クラブ、未達成クラブもありましたが、未達成クラブはクラブ員が自ら社会奉仕に汗を流し、フェイスブックを利用して公共的にイメージアップの活動をしておりました。

この1年半の間、ガバナー補佐教育から始まり、活動をさせて頂きましたが、国立金助ガバナーの人格に触れながらの行動、そして活動でした。私自身、大いに勉強をさせて頂いた期間でもありました。

第2510地区が今後も発展される事を大いに期待したいと思います。有り難うございました。

# 2017-2018年度 地区委員長退任挨拶



委員長  
武部 實  
(札幌南R.C.P.G)

## 地区会員増強委員会

過去最大4,256人の会員数であった我が第2510地区であります。国立年度のスタートに於いては2,551人でありました。最新データでは2018年4月末現在2,578人で、わずかではありますが27人の増加で、減少傾向に歯止めがかかったと言えるのが現状であります。

2017年7月9日に開催いたしました地区会員増強セミナーに於いては、田中正規第2ゾーン・ロータリーコーディネーターにより、「戦略計画とクラブの活性化」と題し、クラブの意識改革・刷新性を会員増強に結びつける等の提言を頂きました。

又、室蘭北ロータリークラブに会員増強の事例報告をして頂きました。「持続可能なクラブを考え、主に若手と女性をターゲットに会員増強活動をして、4年間に23名が入会して7名が退会、実質16名の増員を実現させた」とのこと、この事は今後の会員増強のヒントになると思われました。

2018年1月27・28日の2日間、登別グランドホテルに於いて新会員合宿セミナーが開催され、90名を超える参加があり、基調講演講師の舟本秀男(株)財界さっぽろ社長に「先覚者から学ぶ北海道の夢」を熱く語って頂き、丸山PGに「理想のロータリアンとは？」をユーモアたっぷりに語って頂きました。私は出席できませんでしたが、新入会員に大きな感動を与えたとのことであり、このような活動が退会防止に役立つものと考えます。第2510地区内のクラブ間交流を積極的に行い、情報交換をすることにより、会員増強の戦略にされることを期待いたします。

国立ガバナーのご活動に感謝すると共に、小山新ガバナーのご活動に期待をし、会員増強委員会の報告といたします。



委員長  
嵯峨 義輝  
(岩見沢R.C.P.G)

## 地区RI国際大会推進委員会

第109回目となる2018年ロータリー国際大会が、6月24日～27日の日程で、「インスピレーション いたるところに」をテーマに、カナダ・トロントで開催されました。開会式では、カナダ先住民族の長であるステイシー・ラフォーム氏から歓迎の挨拶があり、それを受け、イアン・ライズリー国際ロータリー会長が、「トロントと同じように、ロータリーも異なる文化や経歴の人びとから成り立っている」と多様性の大切さを強調する挨拶をされたのが印象的でした。

同日、恒例の「北海道ナイト」が、50名以上の参加を得て開催され、楽しく参加者の交流が行われました。今年度も谷口地区国際委員長をはじめ実行委員会の皆様会場セッティング・運営等々、会を盛り上げていただきました。心から感謝いたします。また、安孫子PG、羽部PG、武部PG、国立ガバナー、小山ガバナーエレクト、福田ガバナーノミニ、福井ガバナーノミニ、デジグネット、五十嵐国際大会推進副委員長には、ゲームでの景品を提供いただき、お礼申し上げます。

ただ、トロントの町には、ロータリー国際大会を歓迎するデコレーションより、当日行われるゲイのパレードを象徴するフラッグに溢れていました。現地ガイドの話によると、市民の関心はもっぱらそちらのほうで、昨年はトルドー首相も参加したとのこと。少々さみしく感じもしましたが、多くの参加者はシカゴにも寄り、RI本部、ポールハリスの家、ポールハリスの墓等を見学し、意義深い国際大会でありました。

なお、来年は、6月1日～5日の日程でドイツ・ハンブルグです。多くの会員で参加し、ビールで乾杯しましょう。



委員長  
安孫子 建雄  
(江別R.C.P.G)

## 地区拡大委員会

今期委員会の開催はありません。

今年度計画で実行できた実績はありません。

地区全体の会員数の大きな伸びのない状態とはいえ、新しいクラブの誕生によって地区の拡大を図ることは、我々の念願であります。

さらなる地区拡大の意思をもって新たな仲間を迎えたいと考えます。



委員長  
羽部 大仁  
(札幌南R.C.P.G)

## 意義ある業績賞選考委員会

「2017年1月理事会会合、決定115号により改正43.020. 意義ある奉仕賞、この賞の目的は、影響の大きいプロジェクトについてクラブを表彰し、重要な問題、またはニーズに取り組むクラブの活動を地区で表彰するためのものである」(ロータリー章典より転載)。

大変残念な報告を6月の年度終了直前に森川地区代表幹事から戴きました。既に理事会の決定を受けて、私の所轄した「意義有る業績賞」が「意義ある奉仕賞」に変更され、その表彰も、RIから理事会が認めたものを地区ガバナーから表彰を受ける形となったようです。

このような形式では、地区内各クラブからの応募は益々難しくなるのではと感じております。この件は、国際ロータリー日本支局を通じてRIに申し出を致しました。長い間、我が地区では地区組織に「意義ある業績賞」委員会を立ち上げて活動して参りましたが、今後の活動存続を地区ガバナーに提起したいと考えています。

我が「意義有る業績賞委員会」は、期間中、唯一となる札幌南ロータリークラブの「親子暗唱大会」を、地区意義有る業績賞委員に連絡のもと、全員の合意を得て、RIに所定の推薦を行った次第です。

委員会としては、今年度の地区大会に於いて、国立金助直前ガバナーから表彰を戴く事と致したいと考えております。



委員長  
菅原 秀二  
(札幌大通公園R.C)

## 地区学友委員会

昨年の武部ガバナー年度より、財団学友に加えて、米山学友、ロータアクト学友、インターアクト学友、ローテックス(青少年交換学友)、RYLA学友といった青少年関係の事業すべてに関わる学友委員会が立ち上がりました。2年目には、ロータアクト学友会やRYLA学友会発足へ向けての動きが始まり、学友の輪が広がる兆しが見えてきています。日本ロータリー学友会へ出席してきた感触からしますと、この第2510地区は、こと学友会に関しては日本でも最先端を走っているようです。

今年の事業は、第一に、全学友の親睦と青少年関係プログラムをロータリアンに知っていただくための集会である「第2回 学友体験・帰国報告会」を開催することでした。昨年と同様に、パネルディスカッション「学友体験報告会」と「学友帰国報告会」の二部編成としました。2018年1月20日の開催日には、昨年並みの100名近くの方々の出席をいただき、今年も盛況のうちに「第2回 学友体験・帰国報告会」を終えることができました。皆様のご協力に感謝申し上げます。この会の詳細は、二つ目の事業である『学友会ニューズレター』の新装版第2号に掲載しておりますので、ご覧いただければ幸いです。

また、2018年6月9日には、財団学友委員会や財団学友会との共催で、「財団学友会総会・財団奨学生壮行会」を開催させていただきました。こちら、50名ほどの学友とロータリアンが集まり盛会でした。この席で、財団学友会10周年記念事業であったThe Golden Wheelの翻訳『黄金の輪』が完成し、現在、製本作業がすすんでいる旨の報告がありました。この事業に関しては、学友委員会に地区からの補助金をいただき、製本に至ることができました。関係各位の御協力に感謝するとともに、この7月からお目にかけることができますので、是非、お手に取っていただければと思います。

あと残り1年となりました。引き続き各学友会の発展に、微力ですが、力を尽くしていく所存ですので、よろしく願いいたします。



委員長  
岩崎 修一  
(札幌東R.C)

## 地区文献資料室

文献資料室は、今年度の活動方針であります「次世代の文献資料室作りを目指し、次の世代への文献資料収集や、提供方法について検討します」のもと、活動をしてきました。

文献資料室の設立目的である情報の蓄積の一端を地道にこなしてきたと考えています。

また、資料室には貸し出し用の文献(VHS・DVD)がございますが、各クラブへの用法発信不足等により、地区内各クラブのお役に立てていないのではとの考えから、今年度、貸出リスト集を作成いたしました。今後は各クラブへの発信方法などの課題を検討していきたいと考えております。

2018-2019年度も引き続き委員長を務めさせていただきますので、宜しくお願いいたします。



委員長  
渡邊 葉子  
(札幌西北RC)

## 地区クラブ支援委員会

クラブ支援委員会という新しく設けられた委員会活動で、多くの皆様に支えられながら過ごした1年でした。私自身は、各クラブが大変身近に感じられましたし、多くのロータリアンとの交流の中から沢山のことを教えていただきました。

昨年10月28日・29日、RI第2830地区で開催されましたRI研修セミナーへ参加いたしました。RLIのテキストを読んでも良く分かりませんので、セミナーを受けなければ、当地区への広報活動も行えないとの思いで参加させていただきました。ところが、11月5日開催いたしました第2回委員会におきまして、RLIセミナーを第2510地区で開催することとなりました。RLI日本支部から講師に来ていただき開催するものと思いましたが、加盟していないので無理となりました。そこからは初めての体験ばかり、セミナー経験者を増やすため、委員2名と他地区セミナーへ参加・体験セミナー日程、内容決め・参加者募集・当初から決めていました「新会員オリエンテーション用資料」検討・6月9日「RLI体験セミナー」開催。セミナーにおきましてセッションリーダーを務めるため研修いたしました。大変不安な中、参加者募集に苦戦いたしました。国立ガバナー、バスターガバナーの皆様、ガバナー補佐の皆様のご協力、目標人数もクリア出来ました。当日参加者の皆様から、大変有意義であったと口々に言って頂き、とても嬉しく思いました。セッションリーダーを務めていただきました福田武男ガバナーノミニ、玉井清治職業奉仕・基本理念委員長、増田幸久委員、平川香織委員の献身的なご協力に感謝致します。第2510地区のRLI加盟が決まりました。これからの活動が楽しみです。会員の皆様どうぞご期待ください。

国際ロータリーの中核的価値観；

・親睦・高潔性・多様性・奉仕・リーダーシップ

交流いただいたロータリアンの皆様、この価値観に基づき行動されていると感じた1年でした。貴重な経験をさせていただきました。有難うございます。



委員長  
杉江 俊太郎  
(小樽RC)

## 地区広報・IC委員会

「ロータリーの広報」の目的は、一般の人々にロータリーを広く知って理解を深めていただき、仲間を増やすこととあります。当委員会では、その考え方をベースに、外に向けた広報活動として、昨年度に引き続き、「財界さっぽろ」への連載記事投稿とロータリー紹介新パンフレットの製作とホームページの充実、内に向けては「マイロータリー」の登録推進を中心に活動してきました。

広報担当の「財界さっぽろ」では、1年間12号で24クラブと国立ガバナー対談ほか地区3委員会の記事を掲載し、合わせて45クラブと地区の7事業のロータリー活動を紹介することが出来ました。

記事掲載にご協力を戴きましたガバナー補佐の皆様とクラブ・地区委員会に心からお礼申し上げます。

月号	掲載クラブ・委員会(武部年度)	掲載クラブ・委員会(国立年度)
7	武部ガバナー・財界さっぽろ舟本社長対談	国立ガバナー・舟本社長対談
8	ポリオプラス委員会	小樽・小樽銭函・余市クラブ
9	倶知安・三石・静内クラブ	栗山・栗沢・美唄クラブ
10	地区奉仕プロジェクト委員会	地区ロータリー財団委員会
11	江差・北斗・滝川クラブ	札幌・札幌北・札幌はまなすクラブ
12	岩見沢・岩見沢東・小樽南クラブ	芦別・砂川・赤平クラブ
1	地区青少年交換委員会	地区米山記念奨学・学友委員会
2	長沼・札幌真駒内・札幌東クラブ	長万部・森・七飯クラブ
3	札幌西北・札幌西クラブ・札幌幌南	札幌清田・札幌大通公園・新札幌クラブ
4	地区国際奉仕・VTT委員会	地区奉仕プロジェクト委員会
5	苫小牧・苫小牧東・室蘭北クラブ	妹背牛・留萌・羽幌クラブ
6	千歳・恵庭クラブ・札幌手稲	函館東・函館北・函館五稜郭

また、2014-15年度羽部年度に製作した「ロータリー紹介パンフレット」のリニューアル版を製作し、各クラブに配布いたしました。

IC担当のホームページでは、各委員会との連携を深め、要望に沿ったレイアウトにて情報発信を行う事ができました。

「マイロータリー」登録推進では、「マイロータリー」の理解度をアップして頂くために例会訪問や研修会などを実施したほか、札幌幌南RC、函館RC、当別RC、苫小牧東RCの一括登録を実施し、実施した、クラブにおいては、MY ROTARYの実質登録率は100パーセントとなりました。

この1年間、お世話になりました国立ガバナーや多くのクラブとロータリアン、ご協力頂いた外部関係者の方々に心から感謝申し上げます。



委員長  
山口 史朗  
(札幌東R C)

## 地区奉仕プロジェクト委員会

概ね、活動計画を予定通り推進することが出来たと総括しています。奉仕プロジェクト委員会は、関係する委員会が多く、活動も多岐にわたります。また、奉仕プロジェクト委員会として関係する委員会を横断的に束ね、一体感を持って活動する事業、各委員会の主体性を最大限に発揮していただくためにサポートに徹する事業と、事業の内容・性質・専門性などによってアプローチが違ってきます。

関係委員会の各委員長は、極めて優秀で、しかも主体的積極的でしたので、サポートに徹することが最大の役割だったと感じています。そのサポートが充分ではなかったかも知れませんが、優秀な各委員長のお陰で、ミッションが滞りなく遂行されたことに心から感謝申し上げます。

一番のトピックは、「120万本」の植樹事業です。社会奉仕委員会を主管に、青少年奉仕、職業奉仕・基本理念、国際奉仕委員会と一体となって遂行することが出来ました。「道民の森」での植樹、青少年セミナー、タイでの植樹、各クラブの独自植樹及び地区補助金での植樹の全てが実行されることで達成することが出来ました。参加された皆様に感謝と共に、植樹された苗木の成長を見取りたい気持ちです。苗木が健やかに成長して、ささやかでも環境保護の一助となれば嬉しい思いです。



委員長  
玉井 清治  
(函館亀田R C)

## 地区職業奉仕・基本理念委員会

各クラブの職業奉仕委員長様、1年間本当にありがとうございました。

年度開始前の地区研修・協議会にて、各クラブ職業奉仕委員長様と地区職業奉仕・基本理念委員長との「直接メールでやり取りしよう」の呼びかけに、21クラブ（札幌・函館・白老・苫小牧北・小樽・苫小牧東・札幌大通公園・様似・新札幌・札幌幌南・室蘭東・札幌東・砂川・札幌はまなす・北広島・札幌北・札幌手稲・札幌モーニング・伊達・静内・余市）の職業奉仕委員長様から返信をいただき、活発な意見交換や質疑応答・資料提供ができましたこと、たいへん勉強になり、嬉しく思っております。

第8グループの小林栄一ガバナー補佐からの依頼にて、国立金助ガバナーの重要テーマである「取り戻そうロータリーの心」と職業奉仕理念の関連性について講演させていただきましたこと、札幌北R C職業奉仕委員長中瀬智成様からクラブフォーラムにて「会員増強と職業奉仕」について語り合ったことは大変効果のあったものと感じております。

また、各クラブ例会での訪問スピーチの指示をいただきました職業奉仕委員長様（函館東・岩見沢東・静内・小樽南・札幌手稲・札幌東・小樽・札幌・苫小牧北・札幌はまなす・函館・余市・岩見沢・当別・函館亀田）にも厚く御礼申し上げます。どこのクラブでも真剣に聞いていただき、職業奉仕理念に対する関心度の強さを深く感じました（函館東R C吉川達也職業奉仕委員長様からは3回も依頼がありました）。

静内R C不動産の職業奉仕委員長様には決議23-34をクラブ細則へ盛り込んでいることを知らされ、奉仕理念の重要性を勉強させていただきました。

国立金助ガバナーから、年度前の会議にて、「クラブと地区がどれだけ接近できるか？」を命題として指示されましたが、これを当委員会は第一義に考え、活動してまいりました。これは今年度のみならず、委員会活動として永遠に変わらない不屈の精神でありたいものです。

最後に毎月のガバナー月信投稿に際し、塚原房樹パストガバナーには毎回毎回ご指導賜りました。山口史朗地区奉仕プロジェクト委員長には地区五大奉仕部門に奉仕理念の重要性を普及するよう、講演指示をいただきましたこと、渡邊葉子地区クラブ支援委員長には卓話スピーチを各クラブに積極的にPRいただきましたこと、この場をお借りいたしまして厚く御礼申し上げます。

ロータリーって素晴らしいですネ！



委員長

高山 和宏

(札幌東RC)

## 地区社会奉仕委員会

昨年1月、今年度スタート前に初めて国立ガバナーにお会いした日のことは今でも忘れられません。委員長1年目で緊張していただけでなく、事前に委員会で検討していた活動計画を大きく修正しなければならない事態となったからです。「120万本の植樹事業」を地区で実施したいので、その窓口を社会奉仕委員会でやってほしいという天の声があったのです。最初、頭の中が真っ白になりましたが、事業の背景等の説明を受け、なんとなくですが、事業のイメージをつかむことができました。この日から私の挑戦が始まりました。

手探りのなかで検討を進めていく形となりましたが、運良く当別町「道民の森」で植樹できることとなり、昨年9月天候が心配されましたが、日頃の行いが良かったのか、雨の予報の天気が奇跡的に持ち直し、青空が見える絶好の天気のおかげで、植樹祭を行うことができました。植樹には、青少年奉仕委員会の並行プログラムに参加したインターアクトクラブや交換留学生の生徒さんやロータリークラブの会員も含め、約300名のロータリアンと汗をかき、1,500本の植樹を無事終えることができました。これもホストクラブを務めていただいた当別ロータリークラブの方々をはじめ、各グループのガバナー補佐の方々や多くの方々のご協力のおかげです。今後、苗木の下草刈りは大変ですが、植樹した苗木が順調に育ってくれることを祈っています。

また、タイ・ノンカイ地区でも、地元23の小学校で600本の植樹をすることができました。現地との交流が深まったばかりでなく、植樹を担当してくれた小学生たちが、自分の担当の木を大切に育て、環境への意識が向上したことは間違いありません。

私にとって、このような素晴らしい事業に携われたことは大きな財産となりました。本当にありがとうございました。



委員長

谷口 正樹

(滝川RC)

## 地区国際奉仕・VTT委員会

委員長就任2年目の年度でありました。皆さんに支えられ1年を終えることができました。地区内クラブの皆様、国立ガバナーをはじめ地区の皆様、そして委員会の皆様本当に感謝しております。

今年度もタイ国(第3340地区ノンカイRC・第3350地区バンコククロントイRC)の友情の下、タイ東北部ノンカイ県を中心とした14の学校で12の奉仕事業・職業訓練事業を展開できました。長年、第2510地区が数多くの小学校へクリーンウォーター事業として浄水器を設置してきましたが、ここに来て、その浄水器が破損して使えない物が発生している現状から、昨年度より3か年計画として、これら浄水器の「リペア事業」を展開させていただいております。故障の大きな原因は想定使用量を超える使用によって、タンクあるいはバルブ等のオーバーワークでありました。考え方を変えると、それだけ設置した学校の生徒あるいは地域住民にとって有効に利用して頂いている証拠であると思っています。

現地を確認した際、学校の生徒、先生、地域の住民に寛大な感謝を受けてきましたのは、私たちが設置してきた浄水器は地域の住民にとって認知された重要な生活機器になっていることの証明であり、そして我々が長年活動してきた奉仕活動が間違っていなかったことを確認してきました。

今年度は植樹事業もノンカイ地区23の学校において約600本も完了しております。それぞれの学校において、植樹した1本1本を子どもたち一人一人が担当して育てていただいております。一部事前に植樹した状況を確認したところ、無事にすくすく木が育っていましたので安心しているところです。この植樹を通して子供たちに「育てる力」「責任感」が生まれることを期待しています。

今年度も1月21日より6日間で「事業検証ツアー」を開催いたしました。国立ガバナーを団長にスタッフを含めて266名で「国立組」を編成し、今年度事業の完了を確認してきました。この模様はタイ国内のニュースにも流れ、対象地域にも我々の活動を十分に広報出来たものと感じています。また参加されたメンバーの皆さんは改めてロータリー活動のすばらしさを感じていただいたものと思っています。また次年度も開催を予定しておりますので、多くのご参加をお待ちしております。

さて、7月より新年度が始まりました。この経験を踏まえて活動してまいります。是非、多くのメンバーの皆さんに国際奉仕活動・職業訓練活動に触れる機会を作っていきますので新年度もよろしく願いいたします。

本当に1年間ありがとうございました。



委員長  
西 方 洋 昭  
(岩見沢R C)

## 地区青少年奉仕委員会

青少年奉仕委員会では、年間を通して、インターアクト、ローターアクト、R Y L A、青少年交換の各青少年関連委員会と地区内クラブのサポートに徹しました。

また今年度、国立ガバナー年度は120万本の植樹事業に絡み、例年行っている地区大会での青少年並行プログラムを、9月9日に行われた道民の森での植樹に合わせて実施。青少年76名の参加にて、自然体験、自炊体験、そしてロータリアンと共に植樹を行いました。多くのロータリアンにお手伝いをいただき、参加者は貴重な体験をすることが出来ました。地区内クラブからは5クラブより卓話依頼を受け、当地区でのインターアクト、ローターアクトの減少状況や規定審議会での青少年関連情報の提供を行うことが出来ました。

最後に、御指導御協力いただきました国立ガバナー、森川地区代表幹事をはじめ、地区役員の皆様、各クラブのロータリアンの皆様に感謝申し上げ、報告と致します。



委員長  
西 村 英 晃  
(恵庭R C)

## 地区青少年交換委員会

日頃より地区青少年交換委員会の活動にご理解ご協力を頂きまして、どうもありがとうございます。

2017-18年度も無事に終わりを迎えられるのも、地区青少年交換委員会メンバー、スポンサークラブ、ホストクラブの皆様方の支えがあってのものであります。どうもありがとうございました。

今年度は3名の交換をアメリカ、オーストラリアと行うことができました。また、年度の始めより募集を開始しておりました2018-19年度の派遣候補生も3名がアメリカ、オーストラリア、フィンランドへの派遣が決まりました。

年間を通して、活動計画通り事業を進めることが出来ました。中でも今年度は近隣の過去に学生を派遣経験のある学校向けに説明会を開催、青少年交換事業への理解を深めて頂く機会を作らせて頂いたり、受入学生、派遣候補生、ROTEXが主体に奉仕活動を自ら考え実践をすることも昨年度に引き続き実施、今年度は昨年度初めて訪問させて頂いた幼稚園よりボランティア依頼があり、幼稚園行事に参加することが出来た他、さっぽろ雪まつり会場にて通訳、ゴミ拾いボランティア活動を行ったことがロータリー活動の地域へのPRにも繋がったのではないかと思います。

現在2019-20年度の派遣候補生の募集を行っておりますが、一人でも多くの未来ある若者に参加していただきたいと思っております。

最後に、この一年で一番の思い出は、ROTEXが積極的に当委員会の活動に参加してくれる傾向が出てきたこと、同じ年度の過去の受入学生が4名揃って同じ時期に当地区を訪れてくれるという連絡が有ったことです。単独での訪問は過去にも例はございましたが、このような形で過去の受入学生が訪問してくれるということは初めてのことで、とてもうれしい出来事でした。



委員長  
長 田 正 文  
(岩見沢東R C)

## 地区RYLA委員会

5月26日・27日、グリーンピア大沼において第2510地区のRYLAセミナーが開催され、今年度のRYLA委員会の全事業が終了いたしました。

前年度RYLA委員会はありませんでした。その影響は思っていた以上に大きく、すべてが1からの始まりでした。昨年3月に第1回委員会を開催し、RYLAセミナーに向けての方向性を決めましたが、その中身は決められずにいました。その様な中、一般社団法人はこだて地方創生研究会の藤澤氏と出会い、お互いの活動の共通性を感じ、RYLAセミナーのプロデュースをお願いすることになりました。おかげさまでワールドカフェ方式のワークショップを行うことが出来ました。今までは、参加された研修生も、はじめのうちは、自分から話をする事が出来ませんでした。この形式だと、すぐに議題に入っていく事が出来、これからの第2510地区のワークショップの方向性が見いだせた様な気がいたしました。

RYLAセミナーの開催以外に、今年度の目標に掲げたのが、RYLAをPRする為のDVD作成とRYLA学友会の設立でした。DVDは作成しましたが、各クラブに配布することは出来ませんでした。次年度は、今回のRYLAセミナーの資料を基に、DVDを作成し、配布したいと考えております。学友会設立は、設立に向け、核となってくれる人材が確保できず、今年度は達成出来ませんでした。これも次年度は、今回のRYLA学友会を中心にぜひ学友会設立を目指したいと考えております。

ただ、今年度、隣の第2500地区のRYLAセミナーに研修生2名、ロータリアン2名を派遣することが出来、又、第2510地区のRYLAセミナーには3名のロータリアンの参加を頂き、お互いの研修になりましたし、交流を図ることが出来ました。

又、今年度、小山ガバナーエレクトと共に、RYLA委員2名が日本RYLA研究会に参加し、研修を受けてきました。そこで学んだことは、RYLAの必要性、つまり青少年の心を育てる大事さ、ロータリーの使命がそこにあるということを学び、又、RYLAの理念と理論を学ぶ重要性を感じてきました。

最後に、この1年間で学んだ体験を、RYLA委員会で共有し、次年度に向けてより充実したRYLAを確立させていく覚悟であります。

今年度1年間ご協力ありがとうございました。

## 地区インターアクト委員会

地区内ロータリアンの皆様におかれましては、平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。6月30日を持ちまして無事に2017-18年度インターアクトの活動を終えることができました。これもひとえに国立ガバナーをはじめとする地区の理事役員の皆様、また提唱クラブの皆様、ひいては地区内約2,600名のロータリアンの皆様のお陰と、改めまして心より感謝申し上げます。

第2510地区のインターアクトですが、改めまして北海高校・札幌第一高校・札幌山の手高校・札幌龍谷学園高校・大谷室蘭高校・岩見沢緑陵高校の6校で約100名弱のインターアクターによって構成されております。彼らは、日頃、各校ごとにボランティア活動を行っており、地区の活動としては年次大会の開催・出席、研修旅行、地区大会平行プログラムの参加、時によりRYLAや、その他の青少年奉仕プログラムに出席します。ただ、残念なことに、その活動のほとんどは、6校を提唱している6クラブ以外は殆ど知られていないというのが実情です。地区委員会としましても、更に活動を周知していきますと共に、ロータリアンの皆様にも是非ご興味を持って頂きたく存じます。地区内69クラブに対して1割に満たない提唱クラブの数もやや寂しく、新規で提唱をお願いすべく、地区内何処へでも馳せ参じます。ここ数年でもインターアクターから2名がローターアクターになっています。

本年度で一番記憶に残っているのは、昨年度のときより国立ガバナー並びに森川地区代表幹事が、札幌までお越し頂き、インターアクトの活動についてヒアリングをされたことです。嬉しくなってしまう、大量の資料をお渡ししてしまい、大変失礼致しました。



委員長  
齋藤 貴之  
(札幌モーニングRC)

## 地区ローターアクト委員会

本年度は、委員長就任一年目でした。

国立金助ガバナーをはじめ、多くのロータリアンにご理解とご協力、そして色々な面でサポートいただき感謝申し上げます。

さて私の反省点といたしまして、地区内ロータリアンにローターアクトの認知度をあげて会員増強や新規クラブ設立等を掲げてこの1年間を活動して参りましたが、私の力不足で認知度を上げることが出来なかったことが悔やまれます。

会員数も33名と当地区ローターアクトの歴史の中でもっとも少ない状況になってしまったこと、何より今年度の卒業生は当地区のローターアクトを基盤となり地区を支えてくれた方々の卒業はローターアクトにとってとても痛い損失です。しかし、本年度より正式な発足をめざし準備を始めたローターアクト学友会に所属して頂き、今後もローターアクトのサポートをして頂けるようになったのは良かったと思っております。

活動面では、国立ガバナーの発案でございました地区ポリオプラス委員会と協力し、ポリオ募金活動をロータリー地区大会やローターアクト北海道交流会などでおこないました。特に北海道交流会では、当地区のアクターだけではなく、隣の第2500地区や道外のアクターとも一緒に活動できたのは良かったと思います。

そして、国立ガバナーにご承認いただき、アジア第1ゾーンでも賛同承認いただきました第33回全国ローターアクト研修会ホスト地区として立候補いたす運びとなり、当地区アクターもより一層アクト活動に真剣になっております。今後、地区内ロータリアンの皆様には色々な面でのサポートを多々お願いするかと思いますが、ご理解ご協力をお願い申し上げます。

最後に国立金助ガバナーをはじめ、本当に多くのロータリアンにご理解ご協力を賜り感謝申し上げますとともに、次年度はより一層ローターアクトの普及活動を地区内全体に広げて参る所存でございます。

今後ともローターアクトを宜しく願い申し上げます。



委員長  
川下 和光  
(札幌幌南RC)





委員長  
丸山 淳士  
(札幌真駒内R.C.P.G)

## 地区ロータリー財団委員会

国立金助ガバナーの下、イアン・ライズリー会長の方針に沿い、まずは会員一人一本の植樹からスタートしました。

このプロジェクトは、当地区奉仕プロジェクト委員会を中心に、全クラブ参加型で遂行され、多大な成果を上げました。

イアン・ライズリー会長の今年度標語は、「ロータリー：変化をもたらす」でありました。

この言葉通り、ロータリー財団への寄付でゼロのクラブを解消することができました。ゼロクラブ解消には、ロータリー財団地域コーディネーター羽部大仁P.Gの多大なる尽力を頂戴いたしました。ここに深く感謝申し上げます。

長年にわたり、地区内に財団への寄付がゼロのクラブがあり、他地区から注目を集めていたところでした。これを2年連続で解消できたことは、今後につながる大きな成果と思われまます。

会員の皆様のロータリー財団に関する理解が、浸透し始めたことと思っておりますが、今後も持続するよう、全会員、全クラブにロータリー財団の存在意義の重要性を理解していただくよう委員会一同で努力を続けます。

ロータリー活動に欠かせない、ロータリー財団からの補助金も、参加クラブが年々増加し、ほぼ地区の半数のクラブが補助金を使って奉仕活動をしております。

この補助金は、3年前の各クラブからの寄付金の一部が返還されたもので、補助金を利用するクラブがほぼ全クラブに及ぶためにも、現在の寄付額を増やす必要があることを理解していただくよう努力いたします。

外国への派遣奨学生も、継続して支援しており、学友委員会とも協力しながらロータリーの継続に必要な、若者の入会に結びつくよう、積極的交流活動を広げております。



委員長  
島 義 慈  
(当別R.C)

## 地区財団資金管理運営委員会

1年間お世話になりました。

まずはじめに、1年間委員長を仰せつかり、何とか無事職責を果たすことが出来ました事、関係の皆様の協力に感謝申し上げます。

次年度からは財団補助金委員会に統合されますが、今までと変わらず、管理機能が保たれると思えます。特に今年度は補助金申請数も少人数クラブから皆無だったのが、多数申請され、澁谷財団補助金委員長の努力の賜と感謝申し上げます。

今後の課題として、申請の方法をもっと簡素化して申請しやすい様にし、実のある補助金申請が増えるよう検討する余地があると思いました。これからも多くのクラブが、有効に利用され、地域に貢献しているロータリークラブである事が理解され、会員増強にもつなげたいと思えます。各クラブからの申請をお持ちします。この1年間大変勉強もさせていただき、有難うございました。



委員長  
澁谷 良治  
(札幌真駒内R.C)

## 地区財団補助金委員会

- ・2017-18年度の国立ガバナー年度は、ロータリー財団からの地区財団補助金額が12,568,085円(113,226ドル、111円/ドル)、利息は11円でした。
  - ・2017年3月にロータリー財団セミナーを開催し、5月31日に覚書(MOU)と申請書を締切り、6・7月で申請書の審査を行いました。
  - ・地区クラブの申請件数は40クラブから39件で申請額は10,878,930円でした。
  - ・審査の結果、全ての申請書を承認し、39件で承認額は4,125,788円といたしました。
  - ・RI会長の環境保護への取り組み、120万本の植樹に賛同した第2510地区の植樹活動を含め、地区委員会からの奉仕活動として下記の6件の申請があり8,131,920円を承認いたしました。
- |         |            |             |            |
|---------|------------|-------------|------------|
| 社会奉仕委員会 | 3,540,000円 | 国際奉仕委員会・VTT | 1,300,000円 |
| 地区財団奨学金 | 1,400,000円 | RYLA        | 550,000円   |
| 学友委員会   | 841,920円   | 青少年奉仕       | 500,000円   |
- ・各補助金をクラブ、委員会へ2017年8月に振付いたしました。

今年度は、就任1年目のため、前委員長からMY ROTARYの操作方法の指導を受け、パソコンの各種フォーマットなどを譲り受けました。これがなければ、とても役割を全うすることができなかつたと感謝しております。各クラブ・委員会の皆様には、不慣れのためご迷惑をおかけしたことをお詫びし、ご協力をいただいたことに感謝申し上げます。次年度も何卒よろしくお願い申し上げます。



委員長  
坂下 賢二  
(函館セントラルRC)

## 財団資金推進委員会

当委員会では、地区における財団への募金活動と寄付者の表彰や認証を管理、監督する役割を担っております。1917年の国際大会で、RI会長のアーチC. フランクはロータリー基金の創設を呼びかけました。翌年、カンザスシティーRCが26.5ドルを基金に寄付しました。これがロータリーの基金最初の寄付金となりました。又、ロータリー財団最初のプログラムとして実施したのが大学院生への奨学金の贈呈でありました。これが国際親善奨学金制度の始まりとされております。

私達が地域社会や国際社会で奉仕活動を強化・増大していくためには、奉仕活動の充実と資金面での援助が必要となります。2004年、規定審議会では「Every Rotarian Every Year」が支持され、1人1人が毎年寄付をしてほしいということが決議されております。その後、日本財団より、2012年度の途中から一人150ドルをお願いするように求められております。これを受けまして、当地区としましては、2014年度より、一人当りの寄付額150ドルをお願いしております。

この年次寄付を初めと致しまして、恒久基金、ポリオ撲滅への寄付をお願いしていましたが、ロータリアンの皆様にもうひとつ御理解頂けなかったことが残念であると共に私の努力が足りなかったことを深く反省する次第であります。

なお、財団への寄付に対しては、寄付者に分かり易い形で寄付行為に感謝の念を表す「認証」があります。

また、寄付者は税制上の優遇措置を受けることが出来ます。社会経済が不安定で、景気もままならない今日、財団へのご協力を御願い致しますことは、非常に心苦しいことではありますが、寄付によって、世界中の奉仕活動に参加していることにも通じますので、国際ロータリーの活動を支援するという見地においても、ロータリアン皆様の温かい御支援・御協力をお願い申し上げます。今年度も、ロータリー財団への御理解を頂き、御協力を頂きましたロータリアン皆様に深く感謝申し上げます。ありがとう御座居ました。



委員長  
伊藤 利道  
(札幌南RC)

## 地区ポリオプラス委員会

今年度も1年間ポリオ撲滅活動に御尽力いただきました各クラブ各会員の皆様にご感謝申し上げます。

ポリオプラス委員会は発足4年目の委員会ですが、岡崎前委員長のもと3年間活動し、今年度から私が委員長を担当しました。

今期は「ポリオプラス撲滅活動をローターアクトクラブと連携して行うように」との国立ガバナーの要請があり、年度前ですが、昨年6月には銭函豊足神社における銭函RCのポリオ募金活動に札幌南RC3名と私が参加し、募金活動のお手伝いをしました。

また、10月の地区大会においても、ポリオ委員会ブースでの募金に函館RCのメンバーにお手伝いしていただきました。

11月には千歳で行われた第2500地区・第2510地区合同の第16回北海道ローターアクト交流会においてポリオについての卓話を行い、市内4カ所でのポリオ募金活動に参加しました。募金活動の際、若者が行う方が近寄りやすかったのか、千歳での募金活動の際には、沢山の方が募金して下さいました。今後もローターアクトと連携して活動を継続していきたいと思っております。ローターアクトクラブのことを良く御存知ないロータリアンの方も多く、今後は種々の委員会活動においてローターアクトクラブとの連携をより推進することが必要だと感じました。

ポリオについての卓話は、この他札幌東RC、札幌南ライラック衛星クラブにて行いました。

またポリオに関するチラシ、バッジ、募金箱シールなどを4クラブにお送りしました。

新しくA1サイズのポスターを作成し5月に各クラブ5枚郵送しました。

次年度もポリオ撲滅活動への御協力よろしくお願いたします。

## 地区財団奨学金委員会



委員長  
出村 知佳子  
(札幌北RC)

財団奨学金委員長としての初めての年度。不安でいっぱいスタートでしたが、国立金助ガバナー、森川順治地区代表幹事、丸山淳士地区ロータリー財団委員長に大きな御支援を頂き、素晴らしい委員メンバーに恵まれ、財団奨学生の募集から出発までの一連の過程をサポートする経験をさせて頂き、なんとか無事1年を終えることができました。

今年度選考の財団奨学生2人が、まもなくフランス大学院・ドイツ大学院へと出発することになります。出発後も現地ホストロータリークラブ、地区内ホストロータリークラブと協力しながら、サポートして行きたいと思っております。

また、大変悲しいこともありました。年度が始まってまもなく、前委員長の齊藤博司委員(千歳セントラルRC)が急逝されました。心より御冥福を御祈りし、齊藤博司前委員長が大切にされていた、財団学友会の活動とその結びつきの御遺志を今後も繋いでいきたいと思っております。

そのような中で「財団学友会総会、奨学生壮行会」を財団学友会、地区学友委員会と共同にて同時に行うことができました。地区学友委員会、財団学友会の皆様へ深く感謝申し上げます。

今後も更に協力をしながら、財団奨学金の地区内クラブの皆様への財団奨学生についての御理解を深めて頂けるよう尽力して行きたいと思っております。1年間本当にありがとうございました。

## 地区米山記念奨学・学友委員会



委員長  
大石 清司  
(新札幌RC)

一年間お世話になりました。当年度の新たな取り組みとして、より委員の皆様力を合わせる為に副委員長を一昨年の2名から3名に増やし、ほぼ毎月二役会を開催しました。

また、毎年の奨学生の研修旅行を従来の委員会独自での開催から、遠隔地で奨学生の世話クラブ受け入れが困難な第2グループと共催致しました。結果として、地元の知恵の有難さを実感させて頂きました。視察場所の選定、地元ロータリアンと奨学生・カウンセラー・米山委員含めた地区役員等との交流で、地元ならではの味わいある研修旅行になりました。第2グループの皆様有難うございました。

米山寄付金も当地区は全国で3ランクアップという前進を遂げました。皆様のご協力に感謝申し上げます。

また、昨年の奨学生から2名の方が博士号を取得されました。おめでとうございます。

今年度、当地区米山学友から米山親善大使(全国で3名)にイ・ヨンエさんが選出されました。当地区が長年積み重ねてきた米山奨学事業の結果ではないかと皆様に感謝する次第です。

委員長最終年度となりましたが、今年度も委員全体の力で米山記念奨学の意義を深め、全クラブと共有できるよう取り組みたいと思っております。

また、新たな取り組みでは、遠隔地で奨学生になかなか触れ合えないクラブを「サブ世話クラブ」と位置付け、年2回程度卓話等で訪問させて頂く取り組みです。様々不十分さがあると思われませんが、皆様のご指導ご鞭撻の程、宜しくお願い致します。

## 新会員のご紹介

(敬称略)



函館RC  
松本 健志  
5月24日入会  
生命保険



苫小牧RC  
高田 聡  
5月25日入会  
電気事業



函館RC  
白石 吉良  
5月31日入会  
ウイスキー製造



苫小牧RC  
藤川 信一  
6月1日入会  
携帯電話サービス



室蘭北RC  
水野 治  
6月5日入会  
電気事業



新札幌RC  
**姫嶋 祥次**  
6月6日入会  
電気通信工事業



函館RC  
**榎原 一朗**  
6月7日入会  
電力供給



室蘭北RC  
**船水 尚行**  
6月12日入会  
大学経営



千歳セントラルRC  
**岩崎 光子**  
6月26日入会  
一般飲食



千歳セントラルRC  
**今野 桂子**  
6月26日入会  
冠婚葬祭業



芦別RC  
**小林 臣史**  
4月19日入会  
地方銀行



ROTARY:  
MAKING A  
DIFFERENCE



ROTARY:  
MAKING A  
DIFFERENCE



ROTARY:  
MAKING A  
DIFFERENCE



ROTARY:  
MAKING A  
DIFFERENCE

**訃報**

謹んでお悔やみ申し上げますとともに心からご冥福をお祈り致します



白老ロータリークラブ  
**加藤 信雄**

2018年5月12日 ご逝去  
(享年85歳)

【ロータリー歴】

1979年6月17日 入会 チャーターメンバー  
1985-86年度 第7代会長

【表彰】

ポール・ハリス・フェロー(3)  
米山功労者(2)



札幌真駒内ロータリークラブ  
**宗形 雅俊**

2018年5月20日 ご逝去  
(享年63歳)

【ロータリー歴】

2013年10月 入会  
2015-16年度 幹事



岩見沢ロータリークラブ  
**谷口 弘**

2018年5月30日 ご逝去  
(享年70歳)

【ロータリー歴】

1997年 入会  
2000-01年度 インターアクトクラブ委員長  
2003-04年度 ロータリー財団委員長  
2004-05年度 出席委員長  
2005-06年度 親睦活動委員長

2006-07年度 地域発展委員長  
2008-09年度 職業奉仕委員長  
2009-10年度 ロータリー財団委員長  
2010-11年度 社会奉仕委員長  
2011-12年度 出席委員長  
2012-13年度 会員増強・ロータリー情報委員長  
2013-14年度 広報委員長  
2015-16年度 米山奨学委員長  
2017-18年度 出席委員長

【表彰】

10年100%出席  
マルチプル・ポール・ハリス・フェロー(1)  
米山功労者(2)

## 米山記念奨学会へのご協力に感謝申し上げます

## 米山功労者

札幌北RC	桶川 昌幸	会員	(2回)	5月17日
札幌北RC	嶋田 久昭	会員	(2回)	5月17日
札幌北RC	藤城 英明	会員	(2回)	5月17日
長沼RC	森下 伸	会員	(2回)	5月22日
滝川RC	戎谷 侑男	会員	(1回)	6月18日
滝川RC	山口 恵子	会員	(1回)	6月18日
滝川RC	佐伯 敏和	会員	(1回)	6月18日
岩見沢RC	荒木 敏博	会員	(4回)	6月29日
札幌RC	相茶 俊介	会員	(1回)	6月7日
札幌モニングRC	武田 司	会員	(1回)	6月27日
札幌モニングRC	内田 芳史	会員	(1回)	6月27日
札幌モニングRC	広瀬 進	会員	(2回)	6月27日
札幌モニングRC	藤森 敏昭	会員	(6回)	6月27日
札幌モニングRC	坂本 勝彦	会員	(9回)	6月27日
札幌西RC	上出 利光	会員	(4回)	6月25日
札幌西北RC	三上 直彦	会員	(14回)	6月29日
札幌西北RC	渡邊 葉子	会員	(6回)	6月29日

札幌西北RC	小林 秀樹	会員	(6回)	6月29日
札幌手稲RC	福井 敬悟	会員	(10回)	6月22日
札幌東RC	高橋 徹	会員	(5回)	6月27日
札幌幌南RC	羽部 大仁	会員	(12回)	6月25日
札幌幌南RC	有田 均	会員	(5回)	6月25日
札幌幌南RC	海野 英爾	会員	(5回)	6月25日
札幌幌南RC	針谷 毅	会員	(5回)	6月25日
登別RC	遠藤 秀雄	会員	(9回)	6月29日
函館五稜郭RC	高橋 信二	会員	(1回)	6月27日
函館五稜郭RC	塚田 寛	会員	(1回)	6月27日
函館五稜郭RC	川村 隆夫	会員	(1回)	6月27日
函館五稜郭RC	南部 洋	会員	(1回)	6月27日
函館五稜郭RC	田嶋 英人	会員	(1回)	6月27日
函館五稜郭RC	窪田 良弘	会員	(2回)	6月27日
函館五稜郭RC	能戸 彰	会員	(4回)	6月27日
函館五稜郭RC	光銭 裕二	会員	(5回)	6月27日
函館五稜郭RC	石尾 清広	会員	(6回)	6月27日

## 米山功労クラブ

札幌手稲RC	(28回)	6月22日
函館五稜郭RC	(27回)	6月27日

## ロータリー財団へのご協力に感謝申し上げます

## マルチプル・ポール・ハリス・フェロー

札幌モニングRC	佐藤 元治	会員	(1回)	5月25日
札幌モニングRC	紫藤 正行	会員	(1回)	5月25日
札幌モニングRC	井野 智	会員	(4回)	5月25日
札幌手稲RC	福井 敬悟	会員	(8回)	5月28日
札幌真駒内RC	澁谷 良治	会員	(1回)	5月31日
長万部RC	赤塚 章	会員	(4回)	5月31日
函館RC	石橋 多喜男	会員	(1回)	5月18日
函館RC	伊藤 正明	会員	(1回)	5月18日
函館RC	日下部 博久	会員	(1回)	5月18日
函館RC	松本 秀雄	会員	(1回)	5月18日
函館RC	成澤 茂	会員	(1回)	5月18日
函館RC	大槻 継也	会員	(1回)	5月18日
函館RC	菅野 剛造	会員	(1回)	5月18日
函館RC	玉田 正吾	会員	(1回)	5月18日
函館RC	石塚 元彦	会員	(2回)	5月18日
函館RC	岩塚 晃一	会員	(2回)	5月18日
函館RC	神田 勝美	会員	(2回)	5月18日
函館RC	加藤 憲孝	会員	(2回)	5月18日
函館RC	今 初弘	会員	(2回)	5月18日
函館RC	丸山 雄一	会員	(2回)	5月18日
函館RC	宮崎 昌	会員	(2回)	5月18日
函館RC	室田 浩三	会員	(2回)	5月18日

函館RC	渡邊 兼一	会員	(2回)	5月18日
函館RC	百合 宣博	会員	(2回)	5月18日
函館RC	太宰 昌文	会員	(3回)	5月18日
函館RC	遠藤 哲二	会員	(3回)	5月18日
函館RC	小林 明	会員	(3回)	5月18日
函館RC	松田 俊司	会員	(3回)	5月18日
函館RC	中村 壮一	会員	(3回)	5月18日
函館RC	中山 浩一	会員	(3回)	5月18日
函館RC	久保 俊幸	会員	(4回)	5月18日
函館RC	太刀川 善一	会員	(4回)	5月18日
函館RC	竹田 公一	会員	(4回)	5月18日
函館RC	森川 順治	会員	(5回)	5月18日
函館RC	柴田 繁男	会員	(5回)	5月18日
函館RC	藤井 方雄	会員	(6回)	5月18日
函館RC	勝木 俊彰	会員	(6回)	5月18日
岩見沢RC	北澤 治雄	会員	(2回)	6月21日
岩見沢RC	中塚 力	会員	(3回)	6月21日
岩見沢RC	大屋 均	会員	(6回)	6月21日
当別RC	浅野 政一	会員	(1回)	6月15日
長沼RC	辻野 つね子	会員	(2回)	6月20日
函館RC	工藤 敏夫	会員	(3回)	6月7日
函館RC	原 一彰	会員	(4回)	6月7日

## ポール・ハリス・フェロー

札幌モニングRC	武田 司	会員	5月25日
倶知安RC	脇山 潤	会員	5月24日
函館RC	浜谷 由	会員	5月18日
函館RC	古伏 脇隆二	会員	5月18日

函館RC	二本柳 慶一	会員	5月18日
函館RC	佐藤 友康	会員	5月18日
苫小牧北RC	佐々木 喜久子	会員	6月6日

今年度もたくさんのご協力ありがとうございました。



## 異文化交流とは何か？

ソ                      ユウ      アン  
蘇                      有      安

(中国・雲南省)

北海道大学・札幌はまなすRC

札幌はまなすRCに所属している蘇有安と申します。今は北海道大学文学研究科で数理論理学を専攻しております。数理論理学という学問は、基礎科学の一つの分野として、人間の推論または機械の計算を研究する学問です。

ここで、異文化交流とは何かを、私の経験に基づいて少しお話ししたいと思います。私の地元は、中国の雲南省です。そこは、すこし閉鎖的な環境でした。私の異文化交流は、小学生6年生の時、沿岸都市から来た転入生と友達になったことがきっかけでした。その人から、山の向こうはどんな世界なのかを教えてもらいました。そこで初めて外の世界に惹かれました。大学は、自分の意思で、地元から大分離れた東北地方の遼寧省の大学に進学しました。そこで初めて雪を見ました。

大学を卒業したあと、もっと広い世界を見てみたいと感じていました。自分は外国語を勉強することが好きで、それを基礎に日本に来ました。日本に来てから、よく自

転車で札幌の周辺を散策しました。その時、厚田で漁師の生活を観察したり、富良野で農家の生活を体験しました。そして、途中で困った時もいろいろな人からも助けられました。

今、私自身に“異文化交流とは何か？”と問うと、私の答えは、異文化と言っても実は皆同じではないのかなということです。それは、確かに文化背景や言語も異なるが、人間の共通点は、やはり圧倒的に多いと思います。話し合うことによって、互いの猜疑心は減り、尊重し合う、信頼を築き上げることに繋がって行きます。世界中の様々なトラブルは、そういう簡単なことで解決できると信じています。

ロータリークラブは、正に、このような「話し合いの基盤」を提供しています。

一つの社会の中のみならず、世界中の交流を促進しています。

皆さんの活動は、このように世界に貢献していると私は思います。



**ROTARY:  
MAKING A  
DIFFERENCE**

## 出席率・会員数

グループ	クラブ名	例会数	会員数				出席率
			2017.7.1	2018.5.31	増	減	
1	深川	3	30	33	3	2	91.67
	羽幌	3	45	45	0	2	90.37
	妹背牛	4	7	7	0	0	78.57
	留萌	3	34	36	2	3	86.16
	小計		116	121	5	7	86.69
2	赤平	4	29	27	-2	2	66.70
	芦別	4	32	31	-1	2	71.27
	砂川	5	41	42	1	1	97.00
	滝川	4	87	94	7	4	75.00
	小計		189	194	5	9	77.49
	3	美唄	4	29	23	-6	0
江別		4	32	32	0	1	78.91
江別西		4	29	30	1	4	74.20
岩見沢		4	75	77	2	0	95.39
岩見沢東		4	19	19	0	2	75.33
栗沢		3	19	19	0	1	90.10
栗山		3	26	25	-1	4	90.10
当別		4	27	27	0	0	88.89
小計			256	252	-4	12	84.51
4		札幌	4	117	120	3	2
	札幌はまなす	3	21	18	-3	2	74.10
	札幌北	4	42	41	-1	4	89.47
	札幌モーニング	3	34	36	2	0	79.61
	札幌西	4	48	49	1	9	73.62
	札幌西北	4	34	34	0	3	78.30
	札幌手稲	3	39	40	1	4	89.87
	小計		335	338	3	24	83.50
	5	札幌東	4	132	123	-9	0
札幌清田		3	13	12	-1	4	100.00
札幌幌南		3	66	67	1	11	100.00
札幌真駒内		4	23	23	0	6	100.00
札幌南		3	85	90	5	2	98.37
札幌大通公園		2	13	14	1	4	50.00
新札幌		4	24	24	0	4	87.50
小計			356	353	-3	31	90.38
6		岩内	4	21	21	0	1
	倶知安	4	40	39	-1	3	70.20
	小樽	4	73	75	2	3	74.80
	小樽南	3	67	66	-1	3	78.91
	小樽銭函	3	19	20	1	1	75.00
	蘭越	4	10	10	0	0	87.50
	余市	4	45	45	0	6	86.00
	小計		275	276	1	17	77.18

※札幌幌南RCには札幌幌南ライラックロータリー衛星クラブの会員数13名(内女性会員6名)を含む

5月出席率・  
会員増減数

クラブ数	69クラブ
期首会員数	2,551人
当月末会員数(女性)	2,583人(162人)
増加会員数	32人
当月平均出席率	81.19%

グループ	クラブ名	例会数	会員数				出席率	
			2017.7.1	2018.5.31	増	減		内女性
	千歳	3	63	70	7	7	82.85	
	千歳セントラル	4	43	41	-2	8	70.73	
	恵庭	4	48	50	2	3	73.14	
	北広島	4	20	18	-2	0	87.50	
	長沼	3	17	17	0	3	82.35	
	由仁	2	7	7	0	0	64.29	
	小計		198	203	5	21	76.81	
		えりも	2	16	16	0	1	100.00
		三石	4	12	13	1	0	75.00
		様似	4	18	18	0	1	77.08
静内		4	69	71	2	5	83.25	
浦河		4	26	27	1	2	82.41	
小計			141	145	4	9	83.55	
		伊達	3	60	64	4	1	78.96
		室蘭	4	33	33	0	1	75.00
	室蘭東	3	31	38	7	1	86.80	
	室蘭北	4	42	46	4	0	70.11	
	登別	4	28	26	-2	1	80.77	
	洞爺湖	2	10	10	0	0	70.00	
	小計		204	217	13	4	76.94	
	函館	4	76	79	3	0	71.98	
	函館亀田	4	40	43	3	4	76.79	
	森	3	36	37	1	0	72.00	
	七飯	4	12	12	0	0	68.80	
	長万部	2	8	10	2	0	90.00	
	函館セントラル	3	22	22	0	2	72.73	
	小計		194	203	9	6	75.38	
		江差	2	11	12	1	1	54.55
		函館五稜郭	3	55	56	1	0	77.85
		函館東	4	45	45	0	8	77.28
函館北		3	20	17	-3	0	85.42	
北斗		4	13	12	-1	0	58.40	
小計			144	142	-2	9	70.70	
		白老	4	29	27	-2	3	82.70
	苫小牧	3	55	58	3	3	94.19	
	苫小牧東	4	29	27	-2	5	95.47	
	苫小牧北	4	30	27	-3	2	93.52	
	小計		143	139	-4	13	91.47	
	合計		2,551	2,583	32	162	81.19	

## 出席率・会員数

グループ	クラブ名	例会数	会員数				出席率
			2017.7.1	2018.6.30	増	減	
1	深川	4	30	33	3	2	85.10
	羽幌	3	45	45	0	2	83.70
	妹背牛	4	7	7	0	0	92.85
	留萌	3	34	33	-1	3	88.23
	小計		116	118	2	7	87.47
2	赤平	3	29	27	-2	2	83.07
	芦別	3	32	30	-2	2	72.45
	砂川	3	41	42	1	1	95.00
	滝川	3	87	94	7	4	73.00
	小計		189	193	4	9	80.88
3	美唄	4	29	23	-6	0	89.44
	江別	3	32	32	0	1	88.54
	江別西	4	29	30	1	4	88.30
	岩見沢	3	75	74	-1	0	94.28
	岩見沢東	3	19	17	-2	2	82.57
	栗沢	4	19	19	0	1	95.80
	栗山	3	26	25	-1	4	88.89
	当別	4	27	27	0	0	89.82
	小計		256	247	-9	12	89.71
4	札幌	4	117	121	4	2	99.79
	札幌はまなす	4	21	16	-5	2	72.22
	札幌北	4	42	40	-2	4	83.51
	札幌モーニング	3	34	34	0	0	87.94
	札幌西	3	48	50	2	9	73.87
	札幌西北	4	34	34	0	3	74.02
	札幌手稲	5	39	40	1	4	87.28
	小計		335	335	0	24	82.66
5	札幌東	3	132	125	-7	0	95.94
	札幌清田	4	13	12	-1	4	100.00
	札幌幌南	5	66	66	0	9	97.00
	札幌真駒内	3	23	23	0	6	100.00
	札幌南	4	85	88	3	2	95.98
	札幌大通公園	2	13	14	1	4	79.00
	新札幌	3	24	25	1	4	86.13
	小計		356	353	-3	29	93.44
6	岩内	4	21	21	0	1	76.19
	倶知安	4	40	36	-4	3	71.30
	小樽	4	73	72	-1	4	80.20
	小樽南	4	67	67	0	4	90.84
	小樽銭函	4	19	20	1	1	80.00
	蘭越	4	10	10	0	0	87.50
	余市	4	45	43	-2	6	78.20
	小計		275	269	-6	19	80.60

※札幌幌南RCには札幌幌南ライラックロータリー衛星クラブの会員数13名(内女性会員6名)を含む

6月出席率・  
会員増減数

クラブ数	69クラブ
期首会員数	2,551人
当月末会員数(女性)	2,542人(164人)
増加会員数	-9人
当月平均出席率	83.32%

グループ	クラブ名	例会数	会員数				出席率	
			2017.7.1	2018.6.30	増	減		内女性
	千歳	3	63	70	7	7	83.33	
	千歳セントラル	4	43	39	-4	8	70.19	
	恵庭	4	48	49	1	3	69.71	
	北広島	4	20	16	-4	0	83.54	
	長沼	4	17	17	0	3	80.88	
	由仁	2	7	4	-3	0	92.86	
	小計		198	195	-3	21	80.09	
		えりも	2	16	16	0	1	100.00
		三石	4	12	13	1	0	75.00
		様似	4	18	18	0	1	90.97
静内		4	69	69	0	5	89.33	
浦河		4	26	26	0	2	66.66	
小計			141	142	1	9	84.39	
		伊達	4	60	64	4	1	86.01
		室蘭	4	33	32	-1	1	73.37
		室蘭東	3	31	35	4	1	73.70
		室蘭北	4	42	46	4	2	74.47
	登別	4	28	26	-2	1	69.23	
	洞爺湖	2	10	10	0	0	95.00	
	小計		204	213	9	6	78.63	
		函館	4	76	76	0	0	75.41
		函館亀田	4	40	43	3	4	78.57
		森	3	36	37	1	0	74.00
七飯		4	12	12	0	0	81.20	
長万部		3	8	10	2	0	70.00	
函館セントラル		4	22	23	1	2	76.71	
小計			194	201	7	6	75.98	
		江差	2	11	10	-1	1	72.73
		函館五稜郭	4	55	54	-1	0	77.85
		函館東	4	45	45	0	8	73.86
	函館北	4	20	16	-4	0	94.12	
	北斗	4	13	12	-1	0	60.00	
	小計		144	137	-7	9	75.71	
		白老	3	29	27	-2	3	85.70
		苫小牧	5	55	59	4	3	85.16
		苫小牧東	4	29	26	-3	5	87.96
		苫小牧北	4	30	27	-3	2	93.52
小計			143	139	-4	13	88.09	
合計			2,551	2,542	-9	164	83.32	



**Rotary**  
District 2510

